

令和 6 年度
社会福祉法人愛光園
事業報告書

目次

| | |
|----------------------|----|
| 1、総括 | 1 |
| 2、各事業所の状況 | |
| （1）稲岡事業所 | 3 |
| （2）アイタウン | 5 |
| （3）山川事業所 | 6 |
| （4）大久保事業所 | 8 |
| （5）あづま事業所 | 9 |
| （6）松原事業所 | 12 |
| （7）六郷事業所 | 14 |
| （8）猿田事業所 | 19 |
| （9）足利市障がい者基幹相談支援センター | 21 |
| 3、部会報告 | |
| （1）就労部会 | 25 |
| （2）介護部会 | 26 |
| （3）居住部会 | 27 |
| （4）地域支援部会 | 28 |
| 4、委員会報告 | |
| （1）人材育成委員会 | 29 |
| （2）広報委員会 | 30 |
| （3）サービス向上委員会 | 31 |
| 5、評議員会の開催状況 | 32 |
| 6、理事会の開催状況 | 32 |
| 7、外部研修等実施状況 | 34 |
| 8、事業別職員数 | 39 |

令和6年度 事業報告書

1. 総括

世界経済の混乱に伴う物価の上昇やエネルギーコストの高止まり、人材不足の深刻化など、私たちを取り巻く環境は依然として厳しさを増しています。さらに、デジタル化の進展や地域社会の高齢化といった社会構造の変化も進む中、公定価格で運営を行う福祉の現場では、先行きの見えにくい状況の中で不安定な運営を強いられていることを感じています。

そのような状況下においても、令和6年度は法人としての基本方針に基づき、計画的かつ着実に事業を推進し、一定の成果を上げることができました。これはひとえに、法人の考えを理解いただき、日々現場で誠実に職務に取り組んでくれた役職員の皆様のご尽力の賜物であり、心より感謝申し上げます。

また、コスト上昇への対応としては、適正な価格改定や値上げ交渉に取り組み、来年度に向けて一定の成果が期待できる状況となっております。引き続き、安定した運営に向けた取り組みを継続してまいります。

一方で課題もあり、新たに開設予定のグループホーム建築事業については、進捗に遅れが生じました。主な要因として、法人外での事務手続きの遅延や人手不足による工期の延長など、外部環境の影響が大きかったと認識しております。今後はこうした課題を踏まえ、法人として一層見通しの高い計画の策定と、その着実な実行が求められると考えております。

現在、当法人は足利市・佐野市・館林市の3市を中心に事業を展開しております。今後も、利用者様とご家族、そして地域社会の皆様から信頼され、選ばれる法人であり続けるために、現状に甘んじることなく、さらなる努力と挑戦を続けてまいります。

以下令和6年度の事業報告です。

① 主な整備関係（10,000千円以上のもの）

老朽化に伴う改修工事

大久保事業所 12,650千円

山川事業所 あすか棟・つばさ棟 11,275千円

六郷事業所 アイヴィレッジ 25,300千円

あづま事業所 彩光園彩棟 増築工事 10,347千円

② 重点項目について（令和6年度事業計画より）

(1) 足利・佐野・館林地区における障がい福祉事業の更なる向上に努める

カレンフィールドに新たに就労継続支援B型事業所を開設し、またカレンホームの短期入所定員を増員するなど、地域福祉サービスの向上に努めました。

(2) 相談支援体制の強化と充実

3つの相談支援事業所の連携強化を目的に定期的に会議を開催し、さらに各部会に相談支援専門員を配置することで、相談支援体制の拡充を図りました。

(3) 人材育成に特化した研修、会議、委員会の拡充

既存の人材育成プログラムの充実に加え、新年度に向けた理念の再構築を目的とする事業を実施し、法人全体の意識統一に向けた準備を進めました。

(4) 事業の可視化と公正な評価の実施

ホームページでの情報公開や見学会の開催に加え、外部の専門家の意見を取り入れることで、事業の透明性を高めました。

(5) 職員等の資格取得支援制度活用を推進

令和6年度は8名がこの制度を活用し、資格取得を行いました。

(社会福祉士：1名、精神保健福祉士：1名、社会福祉主事：4名 他)

(6) 災害時避難確保体制の構築

令和6年度より義務化されたBCP(事業継続計画)に基づき、災害時を想定した避難訓練等を実施しました。

(7) 職員のストレスを軽減し、虐待防止のための体制の構築

管理者やサービス管理責任者による定期的な面談を行い、さらに部会ごとに職員主体で虐待防止や身体拘束の適正化に向けた研修を実施しました。また、弁護士によるハラスメント研修など、コンプライアンス強化にも取り組みました。

(8) 本部および事業所間の意思疎通と連携の強化

管理者による経営会議を毎週開催した他、各事業所のサービス管理責任者が参加する「事業所連絡会」を月1回オンラインで開催することで、情報共有と連携の強化に努めました。

(9) 地域医療との連携強化

嘱託医、産業医と連携し、重度化・高齢化する利用者様の支援に努めました。

(10) 利用者様の更なる健康・生活支援の向上と強化

既存の往診体制に加え、新たに陽光園およびカレンホームにて訪問歯科を導入しました。

(11) 職員の確保及び定着のための福利厚生制度の充実

物価高騰への対応として手当の増額を行い、職員の働きやすさの向上を図りました。また、外国人技能実習生の受け入れを開始し、多様な働き方の実践を進めています。

(12) 事業活動圏域で更なる成長をするために、他事業者(法人)との事業科目の差別化と拡充、展開

主に生活介護事業所において芸術活動を更に強化し、法人内でのコンクール実施や地域での展示活動を推進しました。就労継続支援B型では、引き続き工賃の向上に努めました。

(13) ICTや介護ロボットを活用した業務効率の改善

生活介護事業所を中心に、トランシーバーや介護リフト等を導入し、職員の負担軽減および業務効率化を図りました。

③法人の運営

(1) 人材の確保及び資質の向上

用途に合わせて様々な求人方法を実施し、常時求人との問い合わせに対応できるよう整備しました。資質向上については部会、委員会参照

(2) 経営基盤の強化

各事業所利用者様の利用率向上に努めました。

2. 各事業所の状況

(1) 稲岡事業所

ア、就労系サービス《愛光園（就労継続支援B型）》・《共働舎（生活介護）》

a 概況

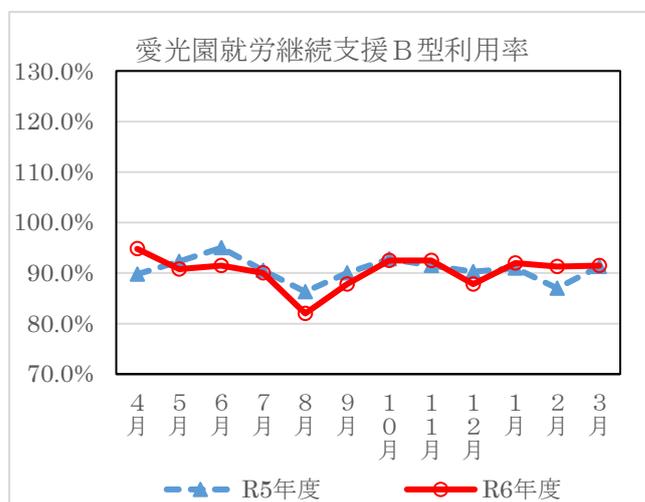
- ・クリーニング事業の生産については、1年を通して安定した作業の提供を行うことができました。ただし、物価やエネルギー価格は高止まりしており、そのため、元請け会社様にも単価の見直し等のご協力を頂き、令和7年度に向けて世間の物価上昇に合わせて工賃の向上ができるよう取り組みを続けました。
- ・令和6年度の平均工賃は45,253円となり、前年度から増額した工賃をお支払いすることが出来ました。
- ・共働舎では利用者様の特性に合わせて、クリーニング以外の内職業務等にも取り組みました。
- ・外出レクの機会を作り、工場見学や鉄道博物館等、4か所に分けて実施しました。

b 利用率の推移

《愛光園（就労継続支援B型）》

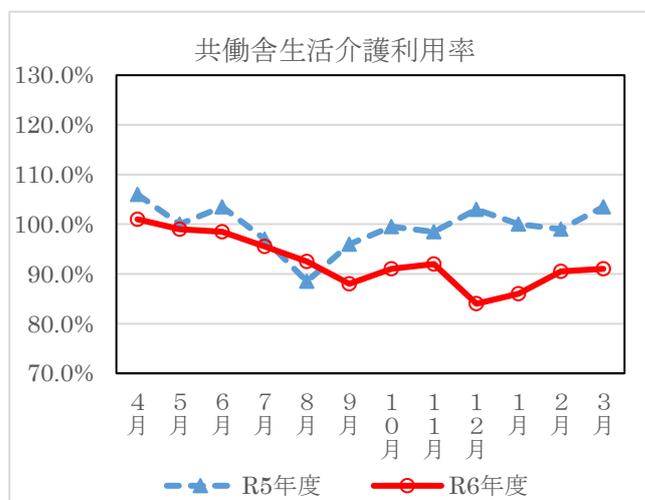
| | |
|--------|---------|
| 定員 | 40名 |
| 開所日数 | 311日 |
| 延べ利用者数 | 11,223名 |
| 平均利用者数 | 36.1名 |
| 平均利用率 | 90.3% |
| 平均工賃 | 45,253円 |

※以下就労継続支援B型は平均工賃、生活介護は平均区分を示しております。



《共働舎（生活介護）》

| | |
|--------|--------|
| 定員 | 20名 |
| 開所日数 | 311日 |
| 延べ利用者数 | 5,736名 |
| 平均利用者数 | 18.5名 |
| 平均利用率 | 92.5% |
| 平均区分 | 4.5 |



イ、入所・介護系サービス《陽光園・(施設入所支援・生活介護・短期入所)》

《愛光園ホーム(福祉ホーム)》

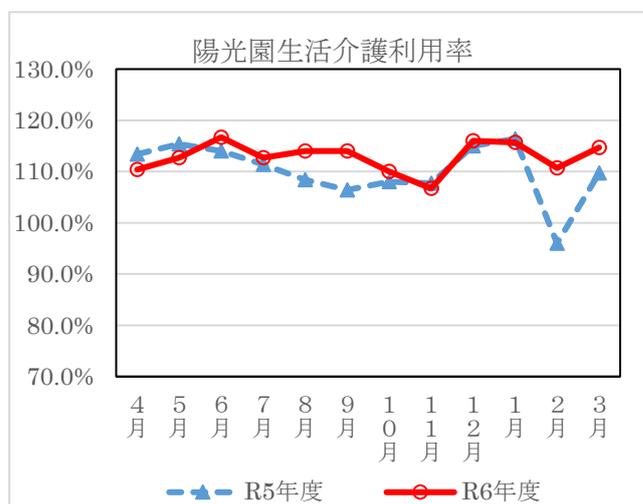
a 概況

- ・法人内の生活介護事業所として最重度の方にご多くご利用いただき、平均障害支援区分 5.7 となりました。
- ・生活介護では、特殊浴槽を使用した入浴支援の提供や、“墨”を使用した芸術作品の制作など、日常生活を通じて利用者様のニーズに応じた支援メニューを提供いたしました。
- ・夏祭りやクリスマス会など、季節感を取り入れたイベントを実施し、多くの利用者様にご参加いただきました。
- ・施設入所および短期入所においては、少人数での外出イベントや季節ごとの夕食会を開催し、日常生活を楽しんでいただけるようサービスを提供いたしました。
- ・令和7年度に開始予定の外国人人材の受け入れに向け、受け入れ体制の整備や職員研修を通じて、導入に向けた準備を進めました。

b 利用率の推移

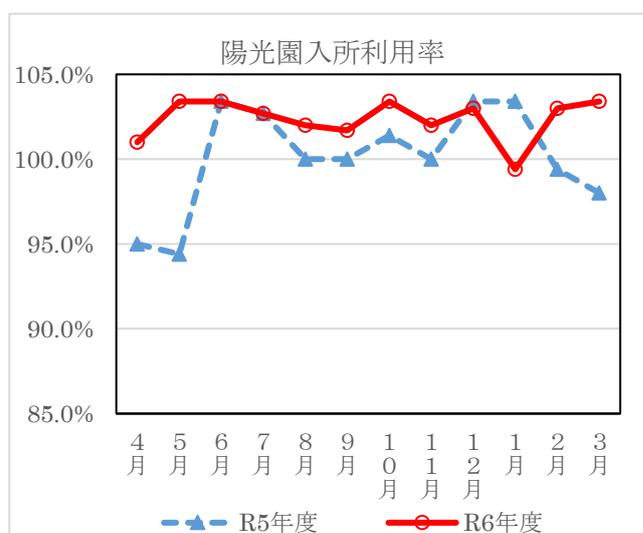
《陽光園(生活介護)》

| | |
|--------|---------|
| 定員 | 30名 |
| 開所日数 | 310日 |
| 延べ利用者数 | 10,476名 |
| 平均利用者数 | 33.8名 |
| 平均利用率 | 112.7% |
| 平均区分 | 5.7 |



《陽光園(施設入所)》

| | |
|--------|---------|
| 定員 | 30名 |
| 開所日数 | 365日 |
| 延べ利用者数 | 11,195名 |
| 平均利用者数 | 30.7名 |
| 平均利用率 | 102.4% |



(2) アイタウン《ホームほのか・ホームひだまり（共同生活援助）》

a 概況

- ・身体機能や認知機能の低下が見られる利用者様に対しては、必要な支援、介助を提供いたしました。その際には、利用者様一人ひとりのニーズに応じるとともに、残存機能を活かすことを意識し、過度な支援とならないよう配慮いたしました。
- ・日曜日を中心に、地域主催のモルックやペタンクに参加し、余暇活動の充実を図りました。地域の方々との交流を重ねながら練習を行い、地区大会にも出場いたしました。
- ・口腔ケアの一環として、歯科治療や定期健診を積極的に実施し、約 30 名の利用者様が歯科通院を行いました。
- ・通所先の事業所と密に報告・連絡・相談を行い、利用者様の体調面・精神面の安定を図りました。
- ・レクリエーション活動は、季節行事や手作り料理、外出を中心に実施いたしました。

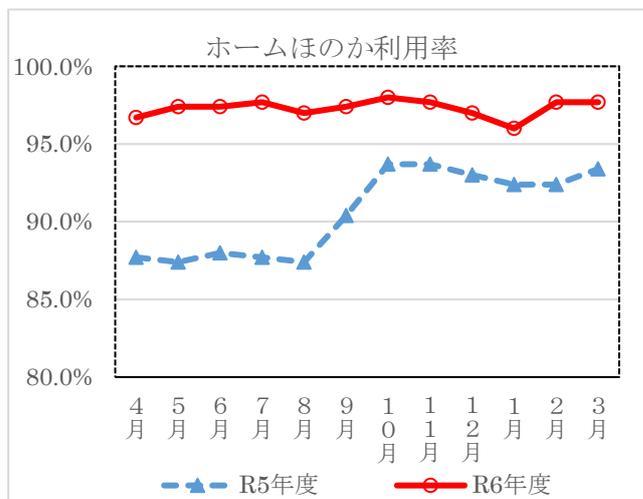
<令和 6 年度実施レクリエーション>

| | | | |
|------|----------------|------|--------------------|
| 4 月 | お花見、カラオケ | 11 月 | 手作りお好み焼き |
| 5 月 | キッチンカーレク | 12 月 | クリスマス会（カラオケ、ビンゴ大会） |
| 6 月 | イオン買い物ツアー、カラオケ | 1 月 | 初詣、書初め |
| 7 月 | 手作りカレーライス、DVD | 2 月 | 恵方巻とつみれ汁、カラオケ |
| 8 月 | かき氷、カラオケ | 3 月 | テイクアウト（モス、すき家） |
| 10 月 | 花火大会 | | |

b 利用率の推移

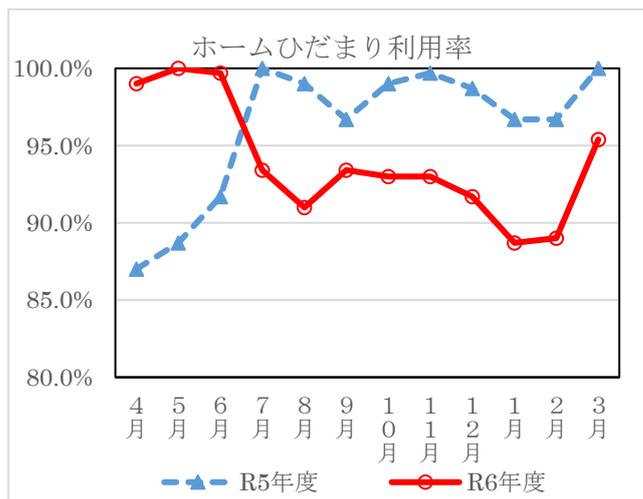
《ホームほのか（共同生活援助）》

| | |
|--------|----------|
| 定員 | 30 名 |
| 開所日数 | 365 日 |
| 延べ利用者数 | 10,643 名 |
| 平均利用者数 | 29.2 名 |
| 平均利用率 | 97.4% |



《ホームひだまり（共同生活援助）》

| | |
|--------|----------|
| 定員 | 30 名 |
| 開所日数 | 365 日 |
| 延べ利用者数 | 10,274 名 |
| 平均利用者数 | 28.2 名 |
| 平均利用率 | 94.0% |



(3) 山川事業所

ア、《足利愛光園（生活介護・就労継続支援B型）》

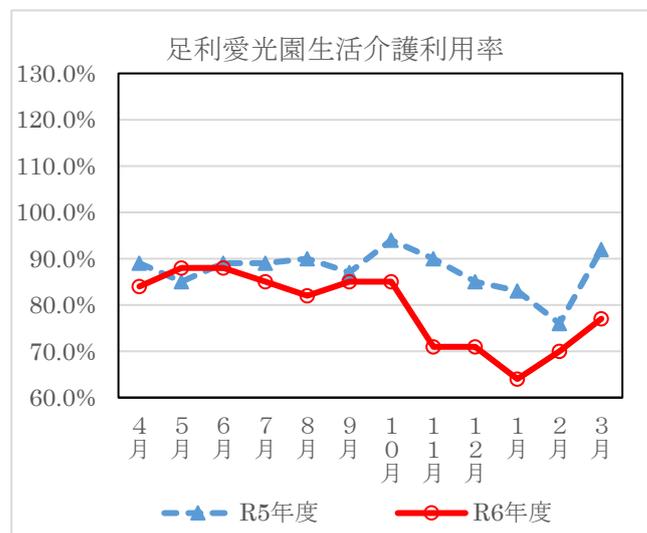
a 概況

- ・令和6年度は、主要な洗濯機械のトラブルもなく、計画通りに生産活動を行うことができました。
- ・生産活動（クリーニング業務）においては、作業量を概ね確保することができました。
- ・都市ガスの価格については、緩和対策が適用されない月もありましたが、大きな変動はなく安定していました。今後、緩和対策の終了が見込まれるため、経費削減に向けた取り組みを推進してまいります。
- ・第1工場および第2工場の屋根工事を実施いたしました。老朽化により雨漏りが発生していたため、特殊な塗装等による工事で対応し、長期の運用に備えました。
- ・就労継続支援B型の利用者様については、作業特性を活かした配置を行ったことで、作業効率や作業意欲の向上が見られました。
- ・気温の高い日が長く続き、洗濯工程（連洗投入・ワッシャー出し入れ）に携わるスタッフおよび利用者様にとって負担の大きい時期については、熱中症予防として健康状態の把握、休憩時間の延長、スポーツドリンクの提供等を実施し、安全に夏を乗り越えることができました。暑い時期にはアイスクリームを全員に提供し、大変好評を得ました。
- ・誕生月の利用者様には、個別にプレゼントと記念写真を贈呈いたしました。
- ・事業所内レクリエーションでは餅つき行事を開催し、クリスマスにはプレゼントを配布いたしました。

b 利用率の推移

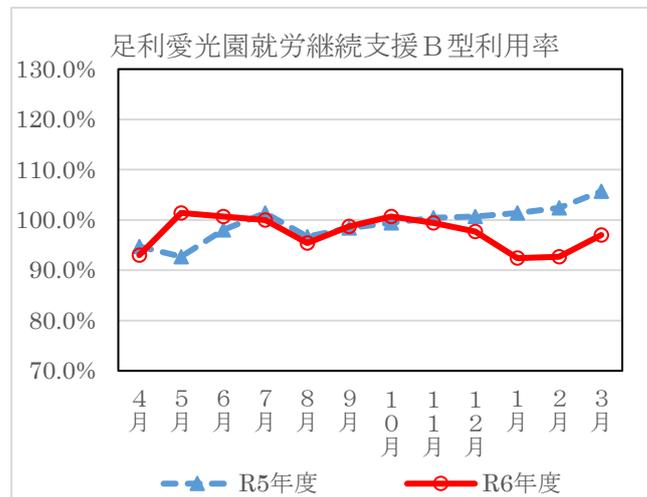
生活介護

| | |
|--------|--------|
| 定員 | 10名 |
| 開所日数 | 311日 |
| 延べ利用者数 | 2,449名 |
| 平均利用者数 | 7.9名 |
| 平均利用率 | 79.0% |
| 平均区分 | 4.2 |



就労継続支援B型

| | |
|--------|---------|
| 定員 | 30名 |
| 開所日数 | 311日 |
| 延べ利用者数 | 9,079名 |
| 平均利用者数 | 29.2名 |
| 平均利用率 | 97.4% |
| 平均工賃 | 47,600円 |



イ、《愛光園ホームあすか（共同生活援助）》

a 概況

- ・感染症等に注意しながらの生活全般の支援を行いました（マスクの着用、手指消毒、取手等の消毒、トイレ・洗面所・共同使用箇所の消毒の徹底、買い物代行等）。また、毎朝の検温、健康状態の把握を行う事で、感染症等のリスク軽減に繋がりましたが、日中活動先で感染したケースも見られ対応に苦慮しました。
- ・感染発生時にはホーム内の制限、日中活動への利用の自粛等を実施し、利用者様にも感染リスクの軽減に協力いただきました。
- ・レクリエーションについては、職員の手作り食事提供や一緒に行う手芸活動などを取り組みました。

5月 キッチンカーレクに参加

6月 うちわ作りにチャレンジ（制作活動）

8月 納涼会（フライドポテト・ウインナー・アイス・チョコバナナ+花火）

10月 手作りハロウィンデザート（ホットク+かぼちゃプリン）

11月 手作り夕食（鮭たたき丼・チキンのトマトソース煮込み・レアチーズケーキ）

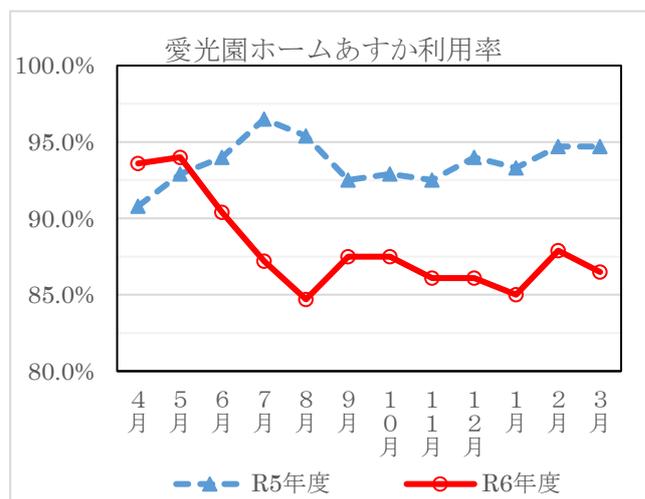
12月 クリスマスレク

2月 バレンタインチョコ配布

*誕生日の方にモスバーガーセット等の飲食を提供

b 利用率の推移

| | |
|--------|--------|
| 定員 | 28名 |
| 開所日数 | 365日 |
| 延べ利用者数 | 8,978名 |
| 平均利用者数 | 24.6名 |
| 平均利用率 | 87.9% |



(4) 大久保事業所

《一步（就労継続支援B型）》

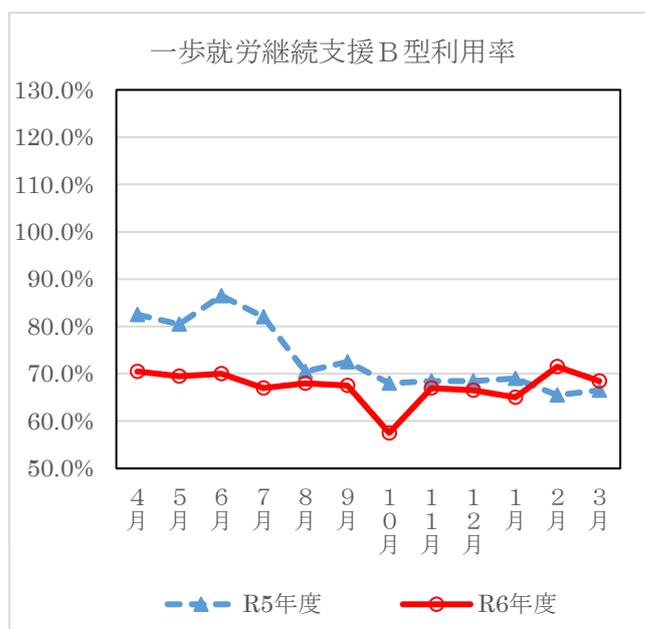
a 概況

- ・ハロウィン、クリスマス、バレンタインなどの季節限定ギフトをはじめ、新商品の開発を行いました。
- ・外壁、屋根の大規模修繕を行いました。外壁の色を変え、多くの人の目にとまり、また看板を変えることにより、パンと焼き菓子を販売していることが分かりやすくなり、新規のお客様を獲得することが出来ました。
- ・法人外販売に利用者様も参加し、自分たちが作った商品を販売することで、作業意欲の増加を図りました。
- ・手洗い、消毒を確実にし、食品に関わる事業所として、衛生管理と感染予防を徹底しました。
- ・レクリエーションは外出を中心に行いました。スカイツリー観光や劇団四季のミュージカル鑑賞、あしかがフラワーパークにてイベント参加などを実施しました。
- ・利用者様それぞれの障がいの程度や特性に応じた作業と支援の提供を行い、また、新たな作業領域への挑戦など一人ひとりの能力の向上に努めました。

b 利用率の推移

| | |
|--------|---------|
| 定員 | 20名 |
| 開所日数 | 274日 |
| 延べ利用者数 | 3,670名 |
| 平均利用者数 | 13.4名 |
| 平均利用率 | 67.0% |
| 平均工賃 | 21,414円 |

※延べ利用者数、平均利用者数、平均利用率は施設外就労 1,015 名/年を除く



(5) あづま事業所

ア、《彩光園（生活介護・就労継続支援B型）》

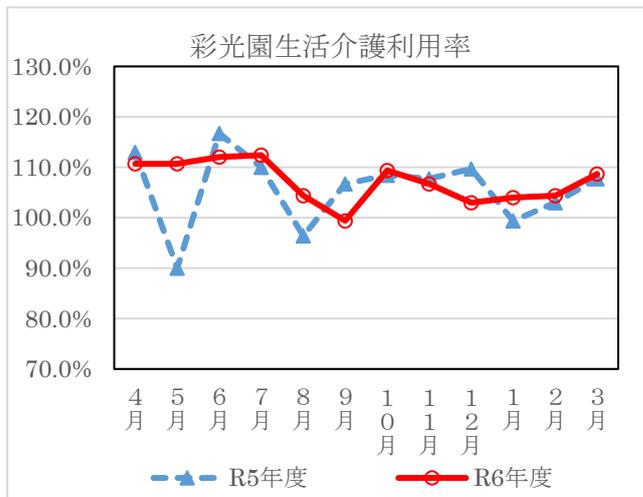
a 概況

- ・作業面では、クリーニングのたたみ作業に加え、キャスター製造（梱包・仮組・組付け）を継続して実施いたしました。より多くの利用者様が作業に取り組めるよう、作業環境や作業手順の見直しを行い、作業効率の向上に努めました。また、作業場のレイアウト変更や作業提供方法の工夫を通じて、利用者様が安心、安全に作業に取り組める環境づくりを推進しました。
- ・9年目を迎えた施設外就労においては、協力企業との連携を密に行い、クリーニングの前処理作業を中心とした多様な業務を継続して任せていただいております。その結果、利用者様一人ひとりが作業への責任感と自信を持って取り組むことができました。また、請負報酬の改定交渉を進めたことにより、施設外就労における工賃向上を実現いたしました。
- ・生活介護では、少しずつ外出活動を取り入れ、人とのコミュニケーションや共に過ごす喜びを感じていただけるよう、日々のレクリエーションの充実を図りました。特に、昨年度より力を入れている芸術活動では、利用者様の楽しみや可能性の創出、利用者理解を深める機会となっているほか、8月からは地域公民館での作品展示も開始し、法人および障がい者への理解促進や地域とのつながりの強化にもつながっています。今後も作業と余暇活動の組み合わせを工夫し、日々の生活の充実を図るとともに、特別支援学校からの実習受け入れも行いました。
- ・利用者様のご家族、グループホーム、関係機関との積極的な情報共有を通じて連携を密にし、より一層の個別支援の充実と利用者様の新規獲得に努めました。

b 利用率の推移

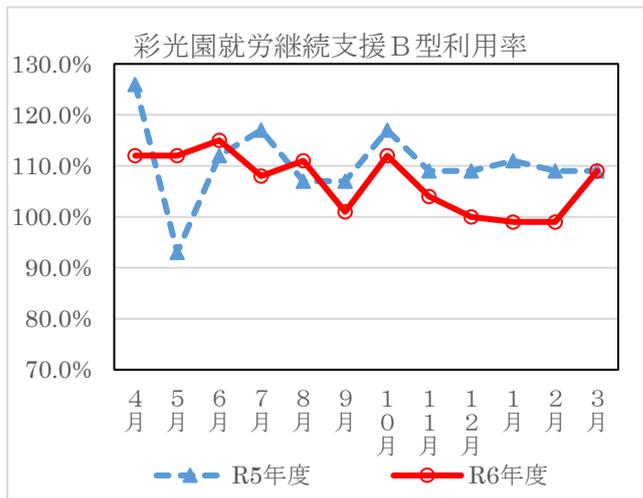
生活介護

| | |
|--------|--------|
| 定員 | 30名 |
| 開所日数 | 311日 |
| 延べ利用者数 | 9,983名 |
| 平均利用者数 | 32.1名 |
| 平均利用率 | 107.0% |
| 平均区分 | 5.0 |



就労継続支援 B 型

| | |
|--------|---------|
| 定員 | 10名 |
| 開所日数 | 311日 |
| 延べ利用者数 | 3,310名 |
| 平均利用者数 | 10.7名 |
| 平均利用率 | 107.0% |
| 平均工賃 | 35,448円 |



※延べ利用者数、平均利用者数、平均利用率は施設外就労 1,549名/年を除く

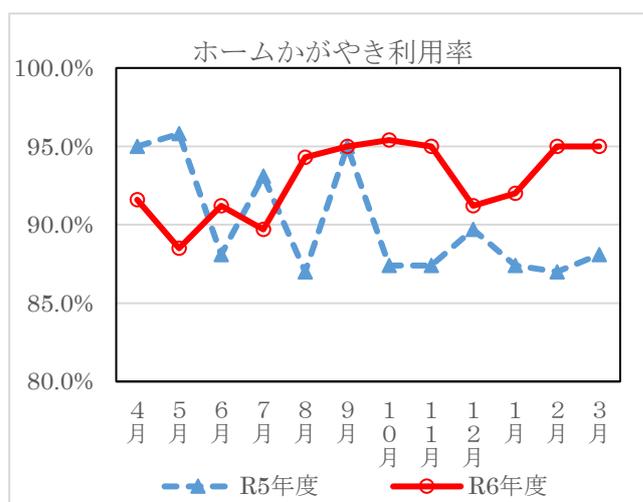
イ、《ホームかがやき（共同生活援助）》

a 概況

- ・かがやき棟・きらめき棟の定員は共に 10 名、ひばり棟の定員 6 名、3 棟の合計定員数は 26 名となっております。令和 6 年度の平均利用者数は 24.1 名でした。8 月にかがやき棟へ新規入居者 1 名が加わり現在の利用者数は合計 25 名となっております。
- ・障害支援区分は、区分無しの方から区分 6 と様々です。棟ごとの平均区分の内訳は、かがやき棟 4.7・きらめき棟 5.1、ひばり棟 1.8 となり、かがやき、きらめきに関しては障害が重度の方も多くご利用いただいております。3 棟の平均区分は 4.5 となります。
- ・「利用者本位」「利用者主体」を考え、個別支援計画の作成を行いました。また、個々が持つ強みや、ご家族の要望を汲み取り、日々の支援からモニタリングを実施し、変動するニーズに合った支援を実践いたしました。
- ・新型コロナウイルス感染予防に努めてきた結果、感染者も最小限でとどまりました。一方、外出レクを取り入れ利用者様の笑顔いっぱいの写真も施設内に展示し利用者様に喜ばれております。多彩なレク活動を企画し実施することが出来ました。
- ・地域交流の機会として、あづま公民館で行われた地域の納涼祭に参加、上羽田町内にある「八幡宮」での例祭では神樂が奉納され、利用者様も地域の方々と一緒に拝見し楽しむことができました。

b 利用率の推移

| | |
|--------|---------|
| 定員 | 26 名 |
| 開所日数 | 365 日 |
| 延べ利用者数 | 8,793 名 |
| 平均利用者数 | 24.1 名 |
| 平均利用率 | 92.7% |



ウ、《なないろ（放課後等デイサービス・児童発達支援）》

a 概況

- ・利用児支援においては、報酬改定に伴い「5 領域」に基づいた多角的・総合的な支援を提供すべく、日々のミーティングや月例の支援員会議において協議を重ね、職員間での共通理解の醸成に努めました。保護者様にはモニタリングや月刊の広報誌を通じて、日常の様子や支援内容をお伝えしました。広報誌では、日々の活動や月間予定に加え、関係機関との連携により得られた有益な情報も掲載し、ご家庭と情報を共有いたしました。
- ・保護者様および職員を対象に実施した「自己評価票」では、特に「支援の満足度」について高い評価をいただきました。日々の送迎時には、園やご家庭での利用児の様子を共有し、保護者様と気軽に話し合えるような信頼関係の構築に努めております。
- ・SST（ソーシャルスキルトレーニング）を重視した個別・小集団での活動や、個々の特性に応

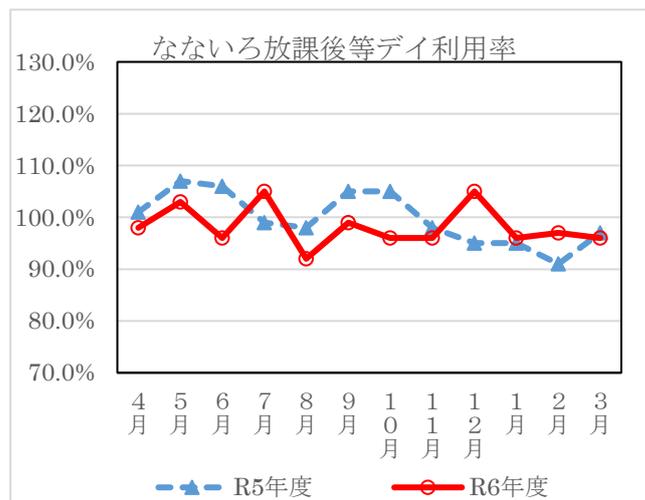
じた支援を実施しました。さらに、外出レクリエーションや昼食、季節行事にあわせた菓子の提供なども行い、利用児・ご家族の皆様が大変喜ばれました。

- ・高校生を対象に、法人内の施設見学を実施し、卒業生 4 名の進路として就労継続支援 A 型 1 名、B 型 1 名、生活介護 2 名となり、うち 2 名には法人内の施設をご利用いただく運びとなりました。
- ・感染症予防については、検温や衛生管理を徹底し、罹患者が発生した際にも状況の早期把握と迅速な対応を行ったことで、「なないろ・きらら」における療育内での感染拡大は防止することができました。

b 利用率の推移

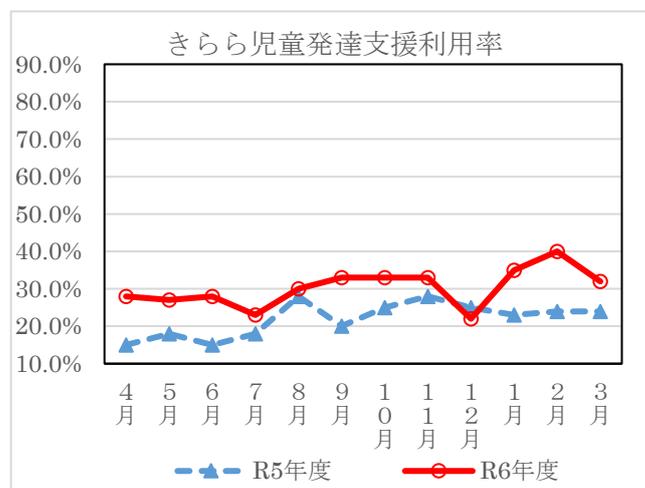
放課後等デイサービス

| | |
|--------|---------|
| 定員 | 10 名 |
| 開所日数 | 292 日 |
| 延べ利用者数 | 2,859 名 |
| 平均利用者数 | 9.8 名 |
| 平均利用率 | 98.0% |



児童発達支援

| | |
|--------|-------|
| 定員 | 10 名 |
| 開所日数 | 51 日 |
| 延べ利用者数 | 153 名 |
| 平均利用者数 | 3.0 名 |
| 平均利用率 | 30.0% |



(6) 松原事業所

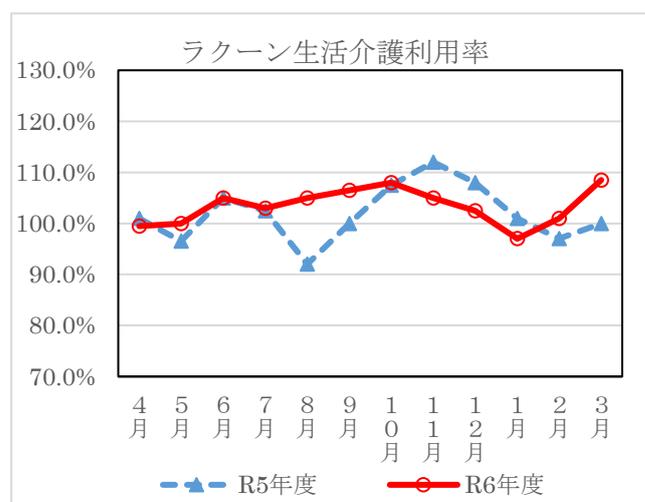
ア、《ラクーン（生活介護）》

a 概況

- ・ 買い物支援、外食、美術館での絵画の鑑賞等、コロナ禍のもと自粛していた外出レクを、少人数にて再開する事ができました。
- ・ 法人内の「創作・芸術作品コンクール」や地域の合同作品展に、利用者様の作品を出展することが出来、賞を頂く方も輩出できました。
- ・ 支援員会議、法人内介護部会、自立支援協議会のケース検討勉強会や ZOOM 等の WEB 研修を活用し、職員のスキルアップに努めました。
- ・ 年間を通して生産活動（内職）を提供することで、充実した日中活動を送って頂きました。

b 利用率の推移

| | |
|--------|--------|
| 定員 | 20名 |
| 開所日数 | 310日 |
| 延べ利用者数 | 6,406名 |
| 平均利用者数 | 20.7名 |
| 平均利用率 | 103.5% |
| 平均区分 | 4.8 |



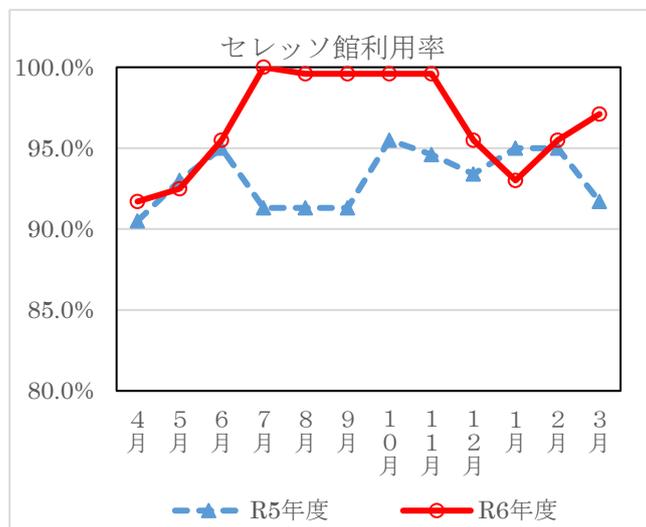
イ、《セレッソ館（共同生活援助）》

a 概況

- ・ 令和6年7月より24名で定員満床となりました
- ・ 法律で定められた、各種研修、訓練を確実にを行い利用者様、スタッフ共に意識の向上に努めました。
- ・ 法人内外の研修や勉強会に参加し、スタッフの知識、技術の向上に努めました。
- ・ 健康管理に焦点をあて、体重管理を実施しました。食事や運動等、個別の対応を協議、実施し、BMI値の適正化を図り、一定の水準を維持できるようになりました。
- ・ 夏祭りやクリスマス、年末年始等、レク食を提供し利用者様に喜んで頂きました。
- ・ 24名全員のマイナンバーカードを取得し、制度の変更に、通院等間断なく、柔軟に対応できるよう整えることが出来ました。

b 利用率の推移

| | |
|--------|--------|
| 定員 | 24名 |
| 開所日数 | 365日 |
| 延べ利用者数 | 8,435名 |
| 平均利用者数 | 23.2名 |
| 平均利用率 | 96.7% |



(7) 六郷事業所

ア、《三柵屋總本店（生活介護・就労継続支援 B 型）》

a 概況

(就労継続支援 B 型)

- ・物価の高騰等の厳しい状況の中、菓子の製造販売と内需の拡充のバランスを取り、昨年度と同等の工賃を支給することが出来ました。
- ・市内のイベントにも積極的に参加し、利用者様が直接地域の皆様と触れ合う機会を創出することが出来ました。
- ・比較的作業能力の高い利用者様に、パン生地成形や落雁の手打ちなど、難易度の高い作業に挑戦して頂くことが出来ました。

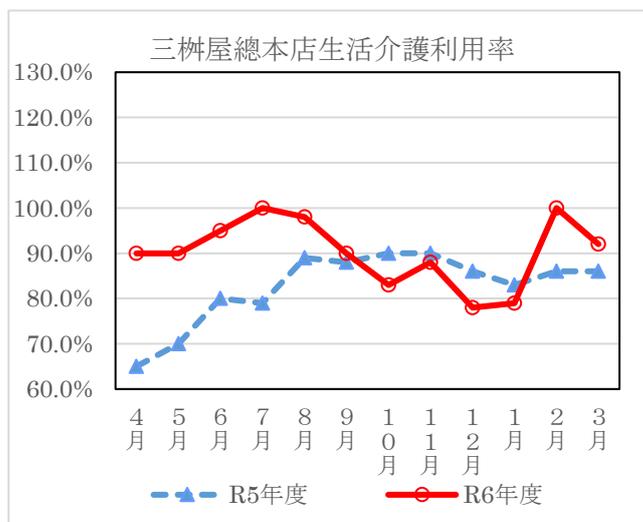
(生活介護：みますやあかでみい)

- ・B型からの軽作業、内職と合わせ、駐車場清掃や法人内デリバリー作業も定着し、就労プログラムの充実を図れました。
- ・地域合同作品展にて、あかでみい所属の利用者様の作品が「館林市長賞」を受賞しました。また「2025 法人カレンダー」を作成するなど、利用者様、スタッフ一丸となり、芸術活動の推進に努めました。
- ・カラオケ等の事業所内レクと合わせて、近隣の散歩やミュージカルの観劇等、余暇活動の充実を図り、利用者様の満足度向上に努めました。

b 利用率の推移

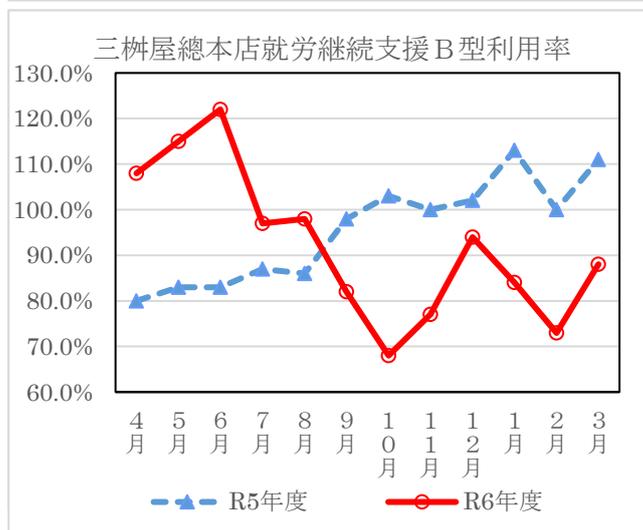
生活介護

| | |
|--------|--------|
| 定員 | 10名 |
| 開所日数 | 272日 |
| 延べ利用者数 | 2,434名 |
| 平均利用者数 | 9.0名 |
| 平均利用率 | 90.0% |
| 平均区分 | 3.7 |



就労継続支援 B 型

| | |
|--------|---------|
| 定員 | 10名 |
| 開所日数 | 313日 |
| 延べ利用者数 | 2,872名 |
| 平均利用者数 | 9.2名 |
| 平均利用率 | 92.0% |
| 平均工賃 | 35,352円 |



※延べ利用者数、平均利用者数、平均利用率は施設外就労 1,437 名/年を除く

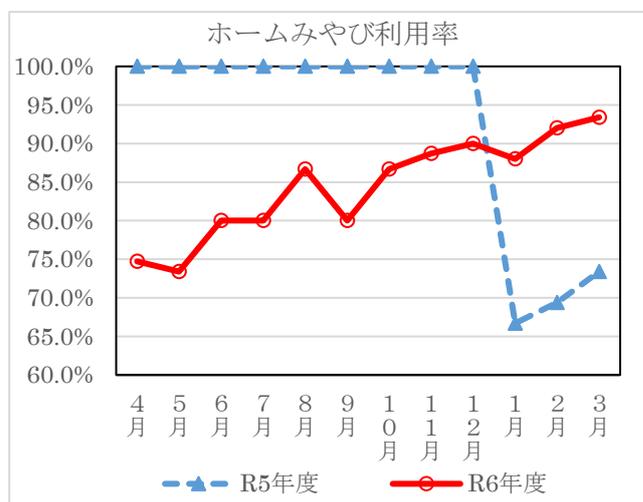
イ、《ホームみやび（共同生活援助）》

a 概況

- ・日帰りや宿泊、ご実家への帰省等、コロナ禍のもと自粛していた外出を再開しました。
- ・毎年2月に行われる、1市5町の合同作品展にて、2年連続で賞を獲得しました。今後も余暇活動の一環として、個人、団体とも芸術活動に積極的に支援を行います。
- ・市内の飲食店にて利用者様と職員の食事会を行い、親睦を深めることができました。

b 利用率の推移

| | |
|--------|--------|
| 定員 | 15名 |
| 開所日数 | 365日 |
| 延べ利用者数 | 4,618名 |
| 平均利用者数 | 12.7名 |
| 平均利用率 | 84.7% |



ウ、《カレンフィールド（生活介護・就労継続支援B型）》

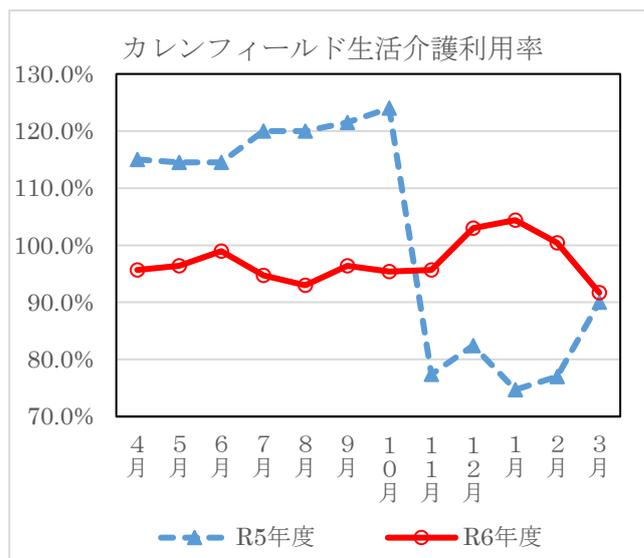
a 概況

- ・開設から3年目を迎え、重度の障がいのある方のご利用が増加傾向にあります。館林市内における当法人の生活介護事業所としては、平均の障害支援区分が5.4と、最重度となっております。また、令和6年8月には就労継続支援B型事業所（定員10名）を新たに開設し、総定員40名の多機能型事業所として運営を行っております。
- ・同一建物内に併設されている共同生活援助事業所「カレンホーム」とも密に連携し、利用者様が365日24時間安心して過ごせる体制を整え、安定した生活の支援に努めてまいりました。
- ・施設の老朽化に伴い、雨漏りなどの不具合が生じていたことから、屋根および外壁の全面改修工事を実施いたしました。これに合わせて塗装も一新し、施設全体に新しい雰囲気を出しております。
- ・地域に根差した事業所を目指し、日本文化遺産に登録されている茂林寺沼での清掃活動に参加したほか、地域の高校が取り組む環境活動にも賛同し、葦を活用したストロー製作を継続的に実施しております。
- ・日中活動では、午前中に入浴支援を中心にを行い、午後にはカラオケなどのレクリエーションや、散歩・ドライブなどの屋外活動など、多様なプログラムを利用者様の希望に応じて提供しており、好評をいただいております。
- ・就労継続支援B型事業所としては、法人内で保管されている書類のデータ化・裁断業務を行うほか、内職作業も取り入れながら、利用者様の就労支援に取り組んでおります。

b 利用率の推移

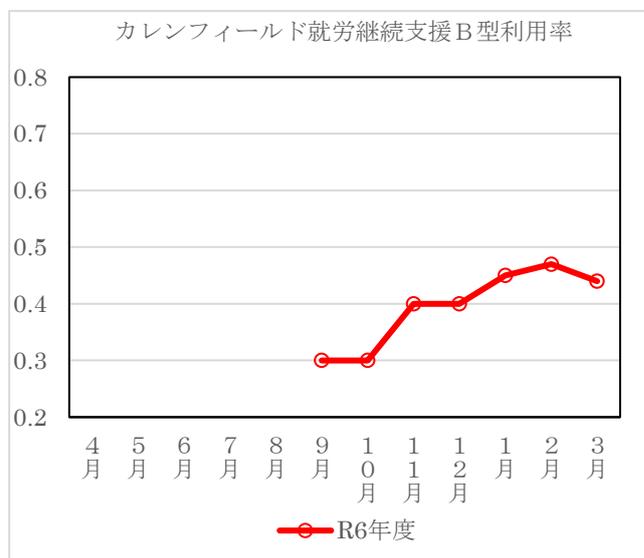
生活介護

| | |
|--------|--------|
| 定員 | 30名 |
| 開所日数 | 310日 |
| 延べ利用者数 | 9,008名 |
| 平均利用者数 | 29.1名 |
| 平均利用率 | 97.0% |
| 平均区分 | 5.4 |



就労継続支援 B 型

| | |
|--------|---------|
| 定員 | 10名 |
| 開所日数 | 156日 |
| 延べ利用者数 | 607名 |
| 平均利用者数 | 3.9名 |
| 平均利用率 | 39.0% |
| 平均工賃 | 15,685円 |



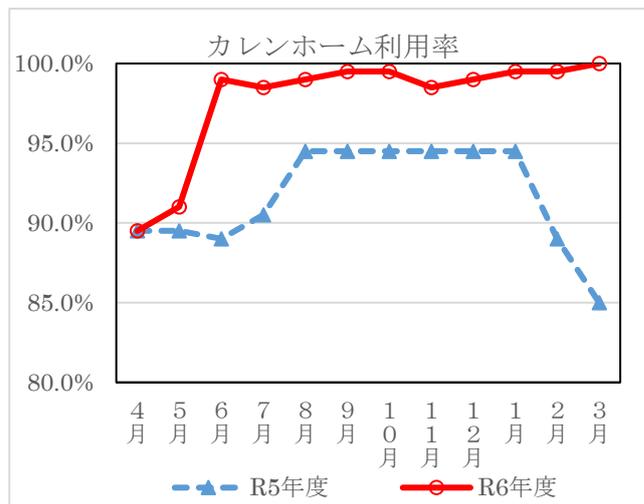
エ、《カレンホーム（共同生活援助・短期入所）》

a 概況

- ・5月に満床となり、その後も安定して満床状態が継続しております。日中サービス支援型のグループホームとして夜勤体制を整え、24時間体制による身体介護や行動支援など、重度障がいをお持ちの方への居住支援を提供しております。
- ・毎年恒例となった明和町の花火大会に合わせたレクリエーションを今年も実施し、利用者様にも大変ご好評をいただきました。
- ・短期入所サービスにおいては、家族の急な入院等に伴う緊急的な受け入れの要望が増加しております。こうした状況を受け、4名の定員では対応が難しい場合が見受けられたため、令和7年2月より一時的に定員を5名に増員し、柔軟な対応を図っております。
- ・医療面の対応としては、夜間オンコール体制の充実を目的に、外部事業者と契約を締結。これにより、職員が気軽に相談できる体制を整備するとともに、看護師の負担軽減にも努めております。

b 利用率の推移

| | |
|--------|--------|
| 定員 | 20名 |
| 開所日数 | 365日 |
| 延べ利用者数 | 7,116名 |
| 平均利用者数 | 19.5名 |
| 平均利用率 | 97.5% |



オ、《愛光園障がい者相談支援センターひかり～輝～（計画相談支援）》

| 指定特定相談支援事業所の名称 | 愛光園障がい者相談支援センターひかり～輝～ | | |
|-------------------------|---|---------|---|
| 主な対象市町名 | 群馬県館林市、邑楽町、千代田町、板倉町、明和町、大泉町、栃木県足利市、佐野市 | | |
| 職員配置の状況 | 氏名 | 職種等 | 資格等 |
| | 森山晴香 | 相談支援専門員 | 社会福祉士 |
| 業務項目 | 業務の実施方針等 | | 回数、件数、開催時期等 |
| ① サービス等利用計画およびモニタリングの実施 | ○地域に根差し、利用者様の適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるような計画を作成しました。 | | 随時 成人 69件 児童 35件 |
| | ○利用者様の希望や目標の達成状況などを含めて、モニタリングを実施し、生活の向上を目指す支援を行いました。 | | ・モニタリング時期 ・状況の変化に応じて 成人 79件 児童 20件 |
| ② 関係機関との連携 | ○利用者様の望む生活が実現できるよう、市町、障害福祉サービス事業者等との連携を図りました。 ○1市5町で開催されている自立支援協議会に参画し、地域の困りごとや、今後の相談支援事業の拡充等に向けて話し合いを行いました。 | | 随時 |

(8) 猿田事業所

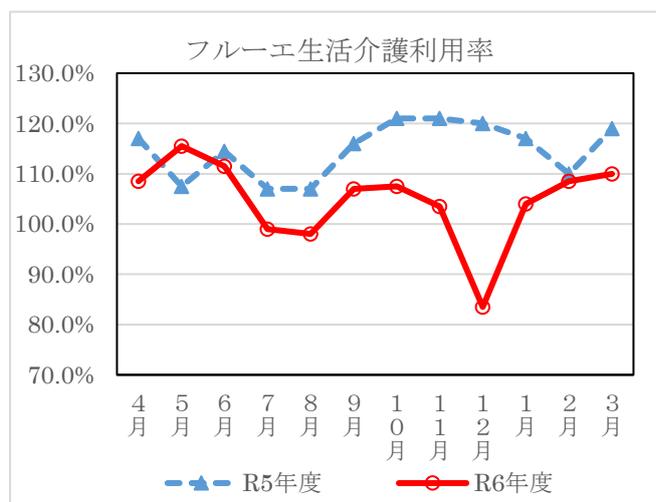
ア、《フルーエ（生活介護）》

a 概況

- ・感染症対策（テーブル上のパーティションの設置、マスクの着用「食事介助者対応時のフェイスシールド使用」、うがい、手指消毒、送迎車内の消毒、ホール内の消毒、換気の徹底）を通年行ってきましたが、コロナ陽性者の特定が難しく、感染が拡大するなど対応に苦慮しました。
- ・年度の後半に個別の外出レクを行い、皆様に喜んで頂きました。また、テイクアウト、出前等、普段食べられないものを提供しました（海鮮丼やお弁当等）。
- ・行事については、ホール内で出来るものを中心に行いました。（開設6周年記念、七夕、夏祭り、ハロウィン、芋煮会、クリスマス会、新年会、手作りおやつや手作りカレー等）
- ・入浴日と活動日を分けて取り組む事で、利用者様との関わる時間を確保でき、継続した活動の取り組みを行うことが出来ました。活動日（火、木）は音楽活動や創作活動など、楽しく参加出来る内容を提供しました。
- ・生産活動を希望する利用者様も多く、活動を調整しながら提供を行いました。
- ・職員のスキルアップのため、事業所内研修を実施しました。（介護技術・感染症対策について）

b 利用率の推移

| | |
|--------|--------|
| 定員 | 20名 |
| 開所日数 | 310 |
| 延べ利用者数 | 6,474 |
| 平均利用者数 | 20.9名 |
| 平均利用率 | 104.5% |
| 平均区分 | 4.9 |



イ、《愛光園障害者相談支援センター共生（計画相談支援）》

| | | | |
|-------------------------|---|---------|---|
| 指定特定相談支援事業所の名称 | 愛光園障害者相談支援センター共生 | | |
| 主な対象市町名 | 栃木県足利市、佐野市、群馬県館林市 | | |
| 職員配置の状況 | 氏名 | 職種等 | 資格等 |
| | 原 健一 | 相談支援専門員 | 社会福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員 |
| | 室岡三慈 | 相談支援専門員 | 社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士、介護支援専門員 |
| | 安藤尚子 | 相談支援専門員 | 相談支援従事者研修終了 |
| 業務項目 | 業務の実施方針等 | | 回数、件数、開催時期等 |
| ③ サービス等利用計画およびモニタリングの実施 | ○利用者様がその有する能力及び適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるような計画を作成しました。 ○利用者様の意思及び人格を尊重して、利用者様の立場に立ち計画の作成を行いました。 | | 随時 成人 196件 児童 1件 |
| | ○利用者様の希望や目標の達成状況などを含めて、モニタリングを実施し、生活の向上を目指す支援を行いました。 | | ・モニタリング時期 ・状況の変化に応じて 成人 411件 児童 0件 |
| ④ 関係機関との連携 | 利用者様の望む生活が実現できるよう、市町、障害福祉サービス事業者等との連携を図りました。 | | 随時 |
| ⑤ 法人内の部会との連携 | 法人内の部会委員会（就労、介護、居住）に参加して法人内の各部会の取り組み等を相談支援部内で共有しました。各部会の参考になる情報提供等も行いました。 | | 月1回程度 |
| ⑥ 法人内研修の補助 | 虐待防止研修等の講師を行いました。事業所の困難ケースの個別支援会議の手法等を事業所の職員と一緒に体験して頂きました。 | | 要請により実施 |

(10) 足利市障がい者基幹相談支援センター

| 障害者相談支援事業 実績報告書（令和6年度） | | | | | | | | |
|--|-------------------|------------|-------|--|------|------|-----|-------|
| 障害者相談支援センターの名称等 | 足利市障がい者基幹相談支援センター | | | | | | | |
| 対象市町村名 | 足 利 市 | | | | | | | |
| 職員配置の状況 | 氏 名 | 職 種 等 | | | | | | |
| | 茂木 成一 | センター長 | | | | | | |
| | 長 秀紀 | 主任相談支援専門員 | | 社会福祉士、社会福祉主事、障害者上級ケアマネ研修修了、介護支援専門員、主任相談支援専門員、医療的ケア児等コーディネーター | | | | |
| | 尾澤 嘉孝 | 相談支援専門員 | | 社会福祉主事、高校2級社会科教員免許、手話通訳者、セルフ士、障害者上級ケアマネ研修修了、全リハ協アドバンスコース修了、ひきこもりサポーター、医療的ケア児等コーディネーター、発達障害者支援サポーター | | | | |
| | 勝又 明日香 | 相談支援専門員 | | 精神保健福祉士、社会福祉士、社会福祉主事、介護支援専門員、公認心理師 | | | | |
| | 小野 広久 | 相談支援専門員 | | 介護福祉士、社会福祉主事、医療的ケア児等コーディネーター | | | | |
| 相談実績 | 相談実人数 | 484（内児童78） | | | | | | |
| 相談形態 （延べ件数） | 電話・メール | 来所 | 訪問 | 同行 | 関係機関 | 支援会議 | その他 | 計 |
| | 1,170 | 278 | 243 | 243 | 591 | 6 | 121 | 2,586 |
| 処理（対応）実績（延べ件数） | | | | | | | | |
| 情報の提供 | | | 1,339 | | | | | |
| サービス利用の助言 | | | 501 | | | | | |
| サービス利用の申請援助 | | | 312 | | | | | |
| 生活プラン作成援助 | | | 8 | | | | | |
| 他機関紹介 | | | 34 | | | | | |
| その他 | | | 1,360 | | | | | |
| 合計 | | | 3,554 | | | | | |
| ※相談形態と処理（対応）実績の件数については、1件の相談で複数の処理（対応）をする場合もあるため、件数は一致しません。 | | | | | | | | |
| ○主な相談事例 | | | | | | | | |
| <p>身体障がい者：50代男性、脳出血後遺症による右半身麻痺・高次脳機能障害、身障手帳2級。預金を切り崩してアパートで1人暮らしをしながらB型事業所に週5日通所していたが、短期間に数百万円散財してしまい電気も水道も使えない母所有の戸建てアパートに引っ越す。栄養も十分摂れずB型事業所より褥瘡発症の連絡を受けて介入。担当の相談支援専門員と連携して本人が取り下げしていた生保の再申請援助、褥瘡の治療を進めながら生活環境を整える目的でGHを紹介し見学設定、体験を経て利用となった。入居後に褥瘡は完治し、現在もグループホームに入居しながら同じB型事業所に通っている。</p> <p>知的障がい者：50代男性、B2、B2の障害を持つ姉と二人で自宅で生活、他市に住む叔父が時々、様子を見に来てくれている。R6年7月に35年勤めたプリント会社を事業縮小のため退職、現在失業手当で生活、A型事業所利用を考え見学後、体験を申し込んだが断られたのでB型事業所を希望となり、就業生活支援センターから話しあった。B型では収入が少ないので年金申請も考えてはと助言し、関西地区に住む叔母に連絡を取り説明した。並行してB型事業所を見学し体験を行い、利用希望となったのでプラン作成を太田市の特設相談事業所に依頼し、申請の支援を依</p> | | | | | | | | |

頼、利用となった。現在、療育手帳再判定を宇都宮総合相談所に予約。年金申請に向けて動いている。

精神障がい者：50代男性。統合失調症で市内の精神科クリニック通院中。手帳は所持していない。（自立支援医療は利用している）本人は、現在生活保護を受給して生活しており、今回生活保護の就労支援担当からB型利用を勧められたとのことで相談があった。見学、体験利用から進めていくこととなり、数か月かけて市内8か所のB型を見学。その後、その中のうちの2か所のB型で体験利用を実施。もともと他者とコミュニケーションをとることが苦手ということで、個々の作業スペースがある方の事業所を希望し、申請手続きを経て利用となった。精神症状には波があるものの、週2～3日程度順調に通えている。

社会資源創出等に関する企画・提言（企画・提言の有無、内容、提言結果等を記載）

足利市地域自立支援協議会の各専門部会において、地域課題の協議を行った。

地域支援部会 1G(精神疾患のある方の地域課題の協議)

課題：①介護支援専門員と精神科病院との連携、②精神障害に関する啓発

目的：①お互いの役割を知り連携しやすくする、②精神障害者の理解を促進する。

協議結果：①令和6年9月30日に市内の精神科病院のSWと地域包括支援センター「きた・なか」、「毛野・富田」との共催で情報交換会を実施。お互いの役割の理解や連携の仕方を確認し合い、スムーズな連携が図れるきっかけ作りとなった。今後は、別の地区でも同様な情報交換会ができればと考えている。②足利市の広報紙あしかがみに精神障害に関する啓発記事を掲載することになり、部会で内容の検討を行った。その後、令和7年3月の“あしかがみ”の特集として「思っているより身近な病気です こころの病気」が掲載され、各家庭に配布された。

地域支援部会 2G(知的・身体の障がいのある方の地域課題の協議)

課題：①傾聴を望む人の対応（早々に相談機関やサービスにつながる体制）、②家族単位で複数の課題を抱える人への対応の充実

目的：①相談対応の充実、②関係機関の連携体制の構築

協議結果：①担当地区の民生委員が関係構築することから始め、ピアカウンセリングの活用を提案したらどうかという意見が出された。②重層的支援体制整備事業の開始に合わせてお互いの役割を再確認した上で連携していく必要があるという意見が出された。

就労支援部会（就労に関する課題の協議）

課題：①市内の就労支援事業所等の周知、②市内の就労支援事業者の把握、③市内の就労系事業所の学びや意見交換の場が身近にない。

目的：①市内の就労支援事業所等の周知を図り、就労の相談に役立ててもらい、②協議の参考に構成員による事業所の現状の把握をする、③市内の就労系事業所の担当者が集い、お互いを知り、支援の質を高め合える。

協議結果：①市内の就労系事業所ガイドブックの改定版を作成、発行（足利市障がい者基幹相談支援センターHPにて公開、市のHPともリンク）し、障がいのある当事者、市・障がい福祉課、ハローワーク、両毛圏域障害者就業・生活支援センター、特別支援学校、各相談支援事業所、足利市障がい者基幹相談支援センター等に活用された。②部会員による就労系事業所の把握を目的に、新規設置事業所5か所（就労移行1、A型2、B型2）の視察を8月下旬に行った。部会員と市の職員延べ29名が参加し、実際の事業所の作業内容や雰囲気を確認し、質疑応答により理解を深めた。③令和6年度第1回足利市内の就労系事業所情報交換会を令和6年9月17日に行った。市内の31の事業所から40名、部会構成員合わせて51名の参加があり。内容は「参加事業所紹介」、「障害のある方の就労支援」（講義）、「ハートショップ部会の取り組みについて」（情報提供）。第2回足利市内の就労系事業所情報交換会を令和7年2月10日に行った。市内の23事業所から31名、部会構成員等合わせて43名の参加あり。就労系事業所と関係機関の連携、BCP、栃木障害者職業センターの役割といった情報提供の後に、グループワークで①利用者支援、②工賃・給与向上、③職員の人材確保のテーマに分かれて意見交換をした。グループワークの時間が短くなってしまったが、他の事業所の取り組みを知り学ぶ機会になった。

| |
|--|
| <p><u>児童支援部会(児童に関する課題の協議)</u></p> <p>課題：事例検討部会から抽出された課題（①家庭で十分な療育が難しい方の支援、②子育て支援シートの活用が不十分、③孤立しやすい家庭への支援体制）、④医療的ケア児の支援体制</p> <p>目的：①家庭にて十分療育ができる体制作り、②ライフステージに沿った支援の実現ができる、③孤立せずに適時相談ができる、④医療的ケアの支援の充実にを図る</p> <p>協議結果：①体制づくりのための意見交換をした。②子育て支援シートの活用の際の課題を確認し合った。③孤立させないための意見交換をした。④「医療的ケアが必要な子どもと家族のためのガイドブック」の修正、配布方法の工夫について検討をし、8月に足利市障がい者基幹相談支援センターのHPにて公開した。</p> |
| <p>ピアカウンセリング（障害者相談員等による面接）</p> <p>親族の死去により一人暮らしとなった不安が強くなった視覚障がいのある方とアルコール依存症のある方の相談があった。それぞれ障害者相談員等を紹介したが、相談支援専門員による面接にとどまったため、ピアカウンセリングにはつながらなかったが、有用な資源であるので適時、適切につなげて行きたい。</p> |
| <p>地域の相談支援体制の強化の取り組み</p> <p>○市内の相談支援事業者に対する専門的な指導、助言：支援困難事例など随時助言（41件）を行い、必要に応じて関係者を招集した担当者会議に出席して検討に加わった。</p> <p>○市内の相談支援事業者の人材育成の支援および地域の相談機関との連携強化の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・足利市地域自立支援協議会事例検討部会：4月、6月、8月、12月、2月にグループスーパービジョンの手法を用いた事例検討を5回開催し、16事業所及び機関から延べ76名の参加があった。令和6年度から相談支援の人材育成の一環で、基本的に事例提供者、司会、板書は基幹相談支援センター職員以外で行ってもらった。相談支援専門員が支援で困っていることに焦点を当て、改めて事例の見立をし、手立てを検討することで、事例提供者の支援の気づきを促した。また、参加者全員から事例検討で得られた気づきを報告してもらい、全体で共有した。 ・安足地区障害者相談支援事業者等連絡会：佐野の基幹相談支援センター（相談支援センターみどり、相談支援事業所さの）と共同で2回開催した。第1回は、8月6日に安足健康福祉センター大会議室にて、令和6年度報酬改定をテーマに県の担当者に説明していただき、その後グループワークで理解を深めた。両市の相談支援専門員を中心に53名の参加があった。第2回は、令和7年2月4日に足利市総合福祉センター3階会議室にて、ストレスケア～相談場面のこころのケア～についての基本的な知識を学び、グループワークで普段感じるストレスやその対処方法などを意見交換した。両市の相談支援専門員中心に42名の参加があった。 <p>○幅広い対象者からの相談：身体、知的、精神障害以外にも難病や発達障害、高次脳機能障害、介護保険の特定疾病、発達障害か知的障害の可能性のある方など幅広い対象者またはその家族、関係者からの相談が寄せられた。その都度、関係する機関や施設と連携して対応した。</p> <p>○特別支援学校の進路相談会への出席：足利中央特別支援学校および足利特別支援学校、県立聾学校の進路相談会に市の担当と出席し、本人、親と担任、進路指導主事と卒業後の進路の検討を行った。</p> <p>○市役所窓口による相談業務 7件</p> <p>毎週月曜日（祝祭日を除く）の午前9:30～12:00まで市・障がい福祉課に相談支援相談支援員が出向き相談対応を行った。窓口に来所された障がいのある方への面接対応では、支援担当の職員同席で面接したり、ケースによっては相談員単独で面接して相談に応じたりした。また、市・障がい福祉課にあった電話相談についても、支援担当の職員が初回受け付けを行い、その後電話を代わり対応をした。</p> |
| <p>総合的・専門的な相談支援の実施について</p> <p>○身体、知的、精神、発達、高次脳、難病等、障がいの種別も多岐に渡り、重複している方からの相談も寄せられたが、特に精神疾患、発達障害のある方の相談が多かった。相談の受付経路は、全体の47%が本人、事業者・施設が18%、家族・親戚が17%、市町が5%となっている。</p> |

また、触法障害者で矯正施設から退所し GH への入居を希望する事例、医療観察法の対象ケースで GH への入居の検討する事例についての相談を支援したケースや、一般のアパートから GH へ入居を希望する相談に応じた。障害年金申請の相談の事例、若年性認知症のある方や介護保険の特定疾病に該当する方の障害福祉サービスから介護保険サービスへの移行に関する事例、引きこもっている方の民生委員、地域包括支援センターからの相談事例など多岐にわたった相談が寄せられた。

精神疾患のある方については、安足健康福祉センターや精神科病院と医療保護観察の対象者は、宇都宮保護観察所等とも連携して対応した。いずれの事例も、インテーク面接を経てアセスメントを行い、ニーズを明らかにしつつ、関係する機関・団体等と連携して相談を進めた。

○療育手帳の出張判定において、必要に応じて専門的な見地から助言を行った。

○医療的ケア児等コーディネーターが大学病院、総合病院の退院後に向けたカンファレンスに出席し、地域の医療、看護、福祉の関係者とともに退院後の支援の確認および検討を行った。退院後に自宅に定期訪問して、家族では調べきれない情報について確認して提供した。

その他（関係機関との連携状況等を記載）

○足利市健康福祉部生活保護担当が主催する「生活困窮者自立相談支援事業支援調整会議」（対面および書面）に出席し、障がい者の対象者に対しての意見交換を行い連携を図った。

○地区の包括支援センター、介護事業所、民生委員、住民等と連携を図るために、北郷地区合議体に参加し、地域の情報と課題の共有を図り、必要な時に連携が図れるようにした。また、11月13日に地域包括支援センター中央の担当地区で、11名のケアマネージャーを対象とした勉強会にて、障がい福祉サービスについて説明し、障害福祉サービスに理解を深めていただいた。

○若年性認知症の相談においては、足利市の認知症支援推進員と連携を図り支援した。また、認知症支援推進員に協力し、当センターで支援経過のある事例を用いた若年性認知症勉強会（第1回11月12日、第2回12月10日）が開催された。市内の介護保険のケアマネージャー、地域包括支援センター、障害者の計画相談支援事業所の相談支援専門員等の計89名（第1回52名、第2回37名）の参加があり、若年性認知症の方の支援を検証し、支援のポイントや連携について学ぶ機会となった。

○安足地区精神障害者支援ネットワーク会議においては、地域移行と普及啓発の委員会にそれぞれ所属し、精神障害者にも対応した。

○就学前の保育園、幼稚園の特別支援コーディネーターワーキングに助言者として協力した。

○足利市中心身障害者・発達障害児療育推進連携協議会に委員として出席し、障害児の支援について協議を行った。

○栃木県高次脳機能障害者支援連携協議会に出席し、高次脳機能障害のある方の支援の課題について協議した。

○地域生活支援拠点整備事業（あっしーネット事業）の相談が1件あった。他県在住の男性で市内のアパートに男性と同居していたが、その男性との間で何らかのトラブルがあり、アパートに住み続けることができないとのことで警察に相談があった。警察からは、知的障害があるとのことで、市・障がい福祉課に対応の依頼があり、市の担当から当センターに協力依頼があった。市の担当と検討した結果、あっしーネットではなく、NPO法人栃木県障害施設・事業協会のセイフティーネットを利用することになった。令和7年3月時点の登録者は123名。緊急短期入所の体験利用については、3月に20代の知的障害の方が利用に向けて両親と対象となる施設の見学を行った。令和7年度に1泊2日の利用を予定している。

3. 部会報告

(1) 就労部会

- ・クリーニング事業、食品事業と連携した取り組みを行いました。
- ・就労の正職員を対象にバス旅行を企画し、事業所間交流等、楽しい1日を過ごしました。
- ・各事業所毎に光熱費（電気・ガス）の削減運動（休憩時間等には消灯する。ガス使用時間を短く効率よく使用するなど）に取り組みました。
- ・就労全体研修会の開催は行えませんでしたでしたが、専門部会はそれぞれ取り組みました。

| 各部等 | 日付 | 内容等 | 人数 |
|-------------|----------|--------------------------------|----|
| サビ管委員会 | R6.5.13 | 各事業所の状況報告、課題と対策、その他報告事項等 | 6名 |
| | R6.6.10 | 各事業所の状況報告、課題と対策、レクの保険について | 6名 |
| | R6.7.8 | 各事業所の状況報告、課題と対策、専門部会について | 6名 |
| | R9.16 | 各事業所の状況報告、課題と対策、ウエス事業について | 5名 |
| | R6.10.21 | 利用者受入延長について、工賃向上、生産状況報告等 | 6名 |
| | R6.11.11 | 生産状況の報告、課題と対策、専門部の活動予定等 | 5名 |
| | R6.12.25 | 生産状況の報告等、専門部の活動予定等 | 4名 |
| | R7.2.3 | 生産状況の報告、作業付加点について、部会活動予定等 | 6名 |
| 生産工程管理/評価部会 | R6.7.18 | 専門部会に求められる事、今後の活動内容 | 7名 |
| レクリエーション部 | R6.4.25 | レクメンバーについて、協議事項、年間スケジュール作成について | 6名 |
| | R6.8.1 | レク進捗状況、各事業所参加者確認（職員）、行程表について | 6名 |
| | R7.3.14 | 年間レク報告、令和7年胴の意向、職員レクについて | 7名 |
| 虐待防止・身体拘束部 | R6.7.19 | 今後の活動について、日程内容確認 | 5名 |
| | R6.10.15 | 虐待・身体拘束資料について、役割分担について | 5名 |
| | R7.1.22 | 虐待・身体拘束資料・グループワークについて、日程について | 5名 |
| | R7.2.12 | 虐待・身体拘束資料について | 5名 |
| | R7.2.21 | 研修資料確認、当日シュミレーションについて | 5名 |
| 新規開拓/研修委員部 | R6.5.14 | 委員会の趣旨と取り組みについて | 5名 |
| | R6.9.16 | 内職関係について、研修について | 5名 |
| 工事・営繕部 | R6.7.15 | 営繕部の取り組みについて | 3名 |

【全体研修会】

- *開催無し（テーマを決めた取り組み）
- *R7.2.25（正職対象の虐待防止・身体拘束研修実施）

【職員交流会】

| 日付 | 区分 | 内容等 | 人数 |
|---------|--------------|--|-----|
| R6.9.29 | 就労部会 全体レク | *バスレク；沼田市方面（川場田園プラザ、原田農園） 【休憩時毎に運転手・座席交換】 | 27名 |

(2) 介護部会

介護部会は専門的な介護技術習得のための研修等を実施しております。今年度は介護技術指導課、芸術活動推進課、研修課、ヒヤリハット・事故検証課、リハテック課を組織し、正職員全員が部会に参画していくよう取り組みました。

| 各部等 | 日付 | 内容等 | 人数 |
|-----------------------|----------------------|---|--------------|
| ユニット会議 | R6.4.8 | 各事業所、各課の報告、報酬改定に伴う記録について等 | 11名 |
| | R6.5.9 | 各事業所、各課の報告、送迎エリアの拡大について等 | 10名 |
| | R6.6.11 | 各事業所、各課の報告、見守り支援について等 | 10名 |
| | R6.7.19 | 各事業所、各課の報告、送迎エリアの拡大について等 | 10名 |
| | R6.8.7 | 各事業所、各課の報告、作品コンクールについて等 | 9名 |
| | R6.9.9 | 各事業所、各課の報告、作品コンクールについて等 | 9名 |
| | R6.10.7 | 各事業所、各課の報告、相談支援からの情報提供等 | 9名 |
| | R6.11.14 | 各事業所、各課の報告、年末年始の操業について等 | 9名 |
| | R6.12.13 | 各事業所、各課の報告、実地指導報告等 | 8名 |
| | R7.1.11 | 各事業所、各課の報告、支援実施書の書式統一について等 | 9名 |
| | R7.2.7 | 各事業所、各課の報告、介護部会親睦会について等 | 10名 |
| R7.3.7 | 各事業所、各課の報告、エリア送迎の確認等 | 9名 | |
| 介護技術指導課 | 12～3月 | 12月～3月にかけて車椅子操作、移乗方法、食事介助、口腔ケアについて介護福祉士による研修を8回実施。 実施に向けて適宜打ち合わせを実施。 | 計 48 名 |
| 芸術活動推進課 | | 8月に「墨と炭のアート展」、2月に「創作コンクール」を開催 その他月に1回の会議と、作品の展示活動等を実施。 | |
| 研修課 | | 次表の全体研修会を実施 研修会に合わせて適宜会議を実施。 | |
| ヒヤリハット・事故検証課 | | 各事業所のヒヤリ・ハット事例を集めて検討会を実施。 | |
| リハテック課 (リハビリ・IT技術) | | 福祉機器展への参加 2か月に1回の介護を実施 | |

【全体研修会】

| 日付 | 区分 | 内容等 | 人数 |
|-----------------|-----|-----------------|-----|
| R6.8.22 9.5 | 研修会 | 接遇について | 62名 |
| R7.1.10 1.17 | 研修会 | 虐待防止及び身体拘束適正化研修 | 69名 |
| R7.3.11 3.19 | 研修会 | 送迎業務について | 51名 |

(3) 居住部会

令和6年度は、サビ管Gにてグループホーム（以下GH）の方向性や法人内のGH全体に関わる課題等について協議・検討、レク・研修グループ、食事・健康グループは以下の会議、活動を行いました。

| 各部等 | 日付 | 内容等 | 人数 |
|-------|----------|----------------------------|-----|
| サビ管G | R6.4.9 | GHの状況報告と課題と対策、給食について等 | 8名 |
| | R6.5.17 | GHの状況報告と課題と対策、各グループの活動等 | 9名 |
| | R6.6.11 | GHの状況報告と課題と対策、通所先とGHの関係等 | 9名 |
| | R6.8.13 | GHの状況報告と課題と対策、入浴について等 | 8名 |
| | R6.9.10 | GHの状況報告と課題と対策、医療費助成について等 | 9名 |
| | R6.10.8 | GHの状況報告と課題と対策、各種訓練、研修の実施等 | 9名 |
| | R6.12.10 | GHの状況報告と課題と対策、地域連携推進会について等 | 7名 |
| | R7.2.11 | GHの状況報告と課題と対策、サビ管補佐導入について等 | 9名 |
| | R7.3.20 | GHの状況報告と課題と対策、来年度の活動について等 | 11名 |
| レク・研修 | R6.6.15 | キッチンカーレクについて、各GHレク実施報告等 | 10名 |
| | R6.8.20 | 虐待防止研修、身体拘束適正化研修について等 | 10名 |
| 食事・健康 | R6.6.21 | 各GHの健康管理の取り組み、利用者様の食生活について | 12名 |
| | R6.9.21 | 各GHの健康管理、食事の問題点と改善策について等 | 11名 |
| | R7.3.12 | 前回の問題点と改善策に対する状況報告について等 | 11名 |

【全体研修会】

| 日付 | 区分 | 内容等 | 人数 |
|-------------------|-----|------------------|-----|
| R6.10.10 10.17 | 全体会 | 虐待防止研修、身体拘束適正化研修 | 29名 |

【職員交流会】

| 日付 | 区分 | 内容等 | 人数 |
|----------|------|-----------------|-----|
| R6.10.27 | 部会レク | バーベキューレク（名草釣り堀） | 10名 |
| R6.11.10 | 部会レク | 陶芸体験レク（益子焼） | 12名 |

(4) 地域支援部会

構成員は、愛光園障害者相談支援センター共生、愛光園障害者相談支援センターひかり～輝～、足利市障がい者基幹相談支援センターの相談支援専門員、社会福祉士、精神保健福祉士、相談支援専門員の資格を活かし、法人の抱える課題に取り組みました。具体的には、支援困難ケースの出前での検討会の開催や介護部会に協力し虐待防止の研修講師を行いました。また、部会内部の虐待防止研修を実施しました。その他の活動として、構成員が各部会および事業所連絡会の会議に出席し、2週間に1回行われる部会にて報告し合い、全体で法人の支援の現状と課題を共有しました。課題については、相談支援の立場からの対応について意見交換を行いました。

令和6年度取り組み内容

| 日付 | 区分 | 内容 | 人数 |
|----------|------|--|-----|
| R6.9.27 | 研修 | グループスーパービジョンによる事例検討（出前研修） 足利愛光園の40代の利用者様の事例検討。事例の見立てをしてストレングス（良いところなど）を出し合い、手立てを出し、障害特性を踏まえ、具体的にだれが行っていくかを確定しました。改めて見立てをし直すことで、新たな情報が共有され、実態に即した支援のアイデアが出された。開催後は、その後の状況についても確認しました。障害についてのとらえ方と対応について再確認ができ、課題となる行動への対応を事業所で検討し実施しました。 | 8名 |
| R6.10.27 | 研修 | 地域支援部会 虐待防止研修 長が講師となり、虐待防止および身体拘束適正化の研修を行いました。相談員としては自ら虐待をしないこと、虐待を見聞きした場合には速やかに上司に相談し、通報することを確認しました。 | 6名 |
| R6.12.24 | 研修 | 地域支援部会 虐待研修個別ヒアリング 事前のアンケートを実施し、個別に回答を確認。問は①相談支援専門員として相談者に対して虐待防止で心掛けていることは何ですか？②これは虐待または虐待の疑いがあるのではないかとということを見聞きした場合、どう対応していますか（またはどう対応しますか）。 虐待の疑いがある場合は、一人で抱えずに上司に相談することを確認しました。また通報は義務であり、虐待かどうかは行政が判断するのでそのままにしないことを確認しました。 | 6名 |
| R7.1.10 | 研修講師 | 介護部会の虐待防止研修にて小野が虐待防止と身体拘束および行動制限についての講義を行いました。 | 36名 |
| R7.1.17 | 研修講師 | 介護部会の虐待防止研修にて原・室岡が虐待防止と身体拘束および行動制限についての講義を行いました。 | 32名 |

4. 委員会報告

(1) 人材育成委員会

職員の支援力向上、組織人として求められる知識、スキルの習得を目的に活動しています。初級オリエンテーション、中級オリエンテーションといった階層別研修を中心に活動を行いました。階層別研修の見直しを含む新たな人材育成体制の検討等、法人の人材育成における課題を確認しながら取り組みました。

【委員会開催】

| 日付 | 議題等 | 参加委員 |
|---------|--|------|
| R6.4.16 | 初級オリエンテーション開催について | 6名 |
| R6.5.10 | 初級オリエンテーション最終確認 (Zoom) | 6名 |
| R6.5.28 | 初級オリエンテーション反省、振り返り (Zoom) | 6名 |
| R7.3.10 | 中級オリエンテーション基礎研修最終確認 来年度の研修開催、新たな人材育成体制の構築について | 5名 |

【研修開催 (外部研修受講含む)】

| 日付 | 研修内容 | 受講者数 |
|-----------------|---|------|
| R6.5.16 5.23 | 令和6年度 初級オリエンテーション 理事長講話、常務から事業所説明、事業所見学 各種講義：「障害について」「リフレーミング」等 | 9名 |
| R6.9.4 | 令和5・6年度 初級オリエンテーション外部講師研修 「顧客満足度を高める接遇とは」 ＜講師：あいおいニッセイ同和損保・目黒様＞ | 18名 |
| R7.3.4 | 中級オリエンテーション基礎研修 「企業理念を胸に、お客様満足度向上を目指して」 ＜講師：あいおいニッセイ同和損保・安江様＞ | 26名 |

【その他打合せ等】

| 日付 | 打合せ内容 |
|----------------|--|
| R6.8～9 | 令和5・6年度 初級オリエンテーション外部講師研修について ・日程、講義内容等 ＜奈良部総合保商 奈良部様＞ |
| R6.10.29 | 中級オリエンテーション基礎研修について ・開催時期、講義内容、講師等 ＜奈良部総合保商 奈良部様・あいおいニッセイ同和損保 安江様＞ |
| R6.12～ R7.2 | 中級オリエンテーション基礎研修について ・日時調整・確定、研修資料確認、その他最終確認等 ＜奈良部総合保商 奈良部様＞ |
| R7.2.3 2.18 | 人材育成プログラム構築について (階層別研修の見直し) ＜(株) S・Y ワークス 田中様＞ |

※上記打合せは、委員長と担当委員が対応

人材育成プログラム構築については、法人幹部も含めた打合せを実施

(2) 広報委員会

広報委員会では、内報部では今後ホームページに取り入れていくメタバースの研修に参加しました他、広報誌の管理、ホームページの訂正等も引き続き行いました。また、求人用ホームページを作成し、求職者向けへの広報活動にも力を入れました。その他、広報誌大賞、SNS大賞等も前年度に引き続き実施し、法人内外の広報活動に努めました。

| 日付 | 区分 | 内容等 | 人数 |
|----------|-------|--|----|
| R6.4.15 | 広報委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・第25号広報トピックスについて ・SNS大賞について ・令和6年度広報委員について | 6名 |
| R6.5.10 | 広報委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・第26号広報トピックスについて ・求人用ホームページについて ・ラインワークス運用について | 6名 |
| R6.6.7 | 広報委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・第27号広報トピックスについて ・SNS担当者会議について ・メンバーの確認について | 6名 |
| R6.7.16 | 広報委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・第28号広報トピックスについて ・Google検索の活用について ・SNS担当者会議、開催報告について | 6名 |
| R6.8.9 | 広報委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・第29号広報トピックスについて ・広報誌夏号、アップデートについて ・法人ホームページ進捗状況・訂正箇所等について | 5名 |
| R6.9.13 | 広報委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・第30号広報トピックスについて ・門間サビ管の退職に伴う役割変更について ・最近気になったニュースについて | 5名 |
| R6.10.11 | 広報委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・第31号広報トピックスについて ・広報誌秋号、アップデートについて | 5名 |
| R6.11.7 | 広報委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・第32号広報トピックスについて ・広報委員会の構成員について ・各部署の取材について | 6名 |
| R6.12.14 | 広報委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・第33号広報トピックスについて ・各部署の取材について ・理事長祝賀会について | 6名 |
| R7.1.15 | 広報委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・第34号広報トピックスについて ・理事長瑞宝双光章に関しての取材について ・著作権フリーのイラスト素材について | 6名 |
| R7.2.4 | 広報委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・第35号広報トピックスについて ・理事長瑞宝双光章号外作成進捗状況について | 6名 |

(3) サービス向上委員会

- ・足利市、佐野市に該当する居住サービス部門と共同でキッチンカーレクを開催し、休日の余暇として利用者様に普段とは違うより明るい雰囲気の中で食事を召し上がっていただくイベントを開催しました。
- ・法人内事業所の巡回、及び改善提案を行い危険個所の修繕や不要な備品の処分など事業所内の美化活動を行いました。
- ・5S活動の活発な事業所様への視察を通し、法人として取り組むべき課題を知り、より多くのスタッフに分かりやすい活動の進め方を示し活動を行いました。

【委員会及び取り組み開催内容等について】

| 日付 | 区分 | 委員会以外の取り組み等 | 人数 |
|----------|-------|-------------------|----|
| R6.4.26 | 定期委員会 | 足利愛光園・猿田事業所 5S 巡回 | 4名 |
| R6.5.19 | 定期委員会 | アイタウン キッチンカーレク | 5名 |
| R6.6.14 | 定期委員会 | 六郷事業所 5S 巡回 | 6名 |
| R6.7.18 | 定期委員会 | | 4名 |
| R6.8.20 | 定期委員会 | | 5名 |
| R6.9.7 | | 特別支援学校保護者向け見学会 | 3名 |
| R6.10.11 | 定期委員会 | | 5名 |
| R6.11.5 | 定期委員会 | | 4名 |
| R7.1.27 | 定期委員会 | | 6名 |
| R7.2.19 | 定期委員会 | 六郷事業所 5S 進捗確認 | 6名 |
| R7.3.15 | 定期委員会 | | 5名 |

5. 評議員会の開催状況

| | 日程 | 内容 |
|---|---------|---|
| 1 | R6.6.20 | 業務運営状況について 令和5年度事業報告について 令和5年度決算報告について 役員を選任について 社会福祉充実残額について |
| 2 | R7.3.26 | 業務運営状況について 令和6年度補正予算（第2次）について 令和7年度事業計画について 令和7年度予算について 基本財産の処分について |

6. 理事会の開催状況

| | 日程 | 議案内容 |
|---|----------|--|
| 1 | R6.6.3 | 理事長の職務執行状況の報告について 令和5年度事業報告について 令和5年度決算報告について 役員を推薦について 経理規程の変更について 職員給与規程の変更について 令和6年度定時評議員会の開催について 社会福祉充実残額について |
| 2 | R6.9.27 | 理事長の職務執行状況の報告について 雷雨被害について 共同生活援助（グループホーム）の建築について 独立行政法人福祉医療機構の借入について 山川事業所の建物老朽化に伴う改修工事について 六郷事業所の建物老朽化に伴う改修工事について 生産設備の導入について 就業規則の改定について |
| 3 | R6.12.23 | 理事長の職務執行状況の報告について カレンフィールド就労継続支援B型の開設について 令和6年度補正予算（第1次）について 館林市堀工町の土地の収用について 定員の変更について 評議員の退任及び候補者の選任について 評議員選任・解任委員の選定について 評議員選任・解任委員会の決議の省略について 瑞宝双光章受章報告について |

| | | |
|---|-------------------|--|
| 4 | R7.3.8 (決議の省略) | 令和6年度臨時評議員会の開催について |
| 5 | R7.3.26 | 理事長の職務執行状況について 運営指導結果について 令和6年度補正予算（第2次）について 令和7年度事業計画について 令和7年度予算について 基本財産の処分について 育児・介護休業等に関する規程の改定について 就業規則の改定について 給与規程の改定について |

7. 外部研修等実施状況

| | | 研修名(内容等) | 主催者等 | 参加者 | 所属 |
|----|-----------|-----------------------------|---------------------------|--------|----------|
| 1 | 6.4.26 | 施設部長会 | 公益社団法人 群馬県知的障害者福祉協会 | 藤田 勝美 | 三樹屋總本店 |
| 2 | 6.4.27 | テールゲートリフター特別教育 | 公益社団法人 わたらせ技能講習センター | 金子 仁一 | 足利愛光園 |
| | | | | 小関 昌幸 | 彩光園 |
| 3 | 6.5.17 | 福祉業界における人材確保力及び定着力向上のためのヒント | とちぎセルフセンター事務局 | 佐藤 圭 | カレンフィールド |
| 4 | 6.5.17 | 栃木県セルフ総会・研修会 | 栃木県社会就労センター協議会 | 川俣 聡司 | 愛光園 |
| 5 | 6.5.23 | 安全運転管理者等講習 | 公益社団法人 群馬県安全運転管理協会 | 関 晋二 | ラクーン |
| | | | | 伴 和也 | カレンフィールド |
| 6 | 6.5.24 | 栃木県社会就労センター協議会令和6年度第一回総務委員会 | 栃木県社会就労センター協議会 | 佐々木 健一 | 陽光園 |
| 7 | 6.5.28 | 施設長養成 College1回目 | (株)S.Y ワークス | 佐々木 健一 | 陽光園 |
| 8 | 6.5.28 | パン屋さんのための展示会 | 関東商事株式会社 | 恩田 真由美 | 一步 |
| 9 | 6.5.29 | CareTEX 介護用品展 | (株)S.Y ワークス | 佐々木 健一 | 陽光園 |
| 10 | 6.5.30 | ぐんま SELP 定時総会 | 群馬県社会就労センター協議会 | 藤田 勝美 | 三樹屋總本店 |
| 11 | 6.5.30-31 | 甲種防火管理新規講習 | 一般財団法人 日本防火・防災協会 | 森山 僚 | カレンホーム |
| 12 | 6.6.4 | 障害者アート支援 初級セミナー | 群馬県障害者芸術文化活動支援センター こ・ふ・あん | 木村 友香 | 陽光園 |
| | | | | 津布久 美帆 | ラクーン |
| 13 | 6.6.7 | 認定調査員研修 | 栃木県障害者総合相談所 | 関口 裕子 | 陽光園 |
| | | | | 屋宜 沙織 | 陽光園 |
| | | | | 永野 小百合 | 陽光園 |
| | | | | 室岡 三慈 | 共生 |
| 14 | 6.6.9 | 福祉レクリエーションセミナー | 群馬県レクリエーション協会 | 狐塚 修 | カレンフィールド |
| | | | | 松本 悠莉 | カレンフィールド |
| 15 | 6.6.22 | 強度行動障害支援者養成研修 | IBC アカデミー | 本間 晴香 | ひかり |
| 16 | 6.6.23 | 令和6年度 介護福祉士実習指導者講習会 | 一般財団法人 栃木県介護福祉士会 | 岩崎 健太郎 | 陽光園 |

| | | | | | |
|----|-----------|--------------------------|----------------------------------|--------|----------|
| 17 | 6.6.25 | 施設長養成カレッジ | S.Y ワークス | 佐々木 健一 | 陽光園 |
| 18 | 6.6.28 | テールゲートリフター特別教育 | 公益社団法人わたらせ技能講習センター | 篠原 孝 | 彩光園 |
| 19 | 6.6.28 | 障害者虐待防止研修 | 館林邑楽自立支援協議会 | 中村 弘美 | ホームほのか |
| 20 | 6.7.3-5 | 令和6年度全国社会就労センター協議会総合研究大会 | 社会福祉法人全国社会福祉協議会 全国社会就労センター協議会 | 野本 嘉之 | アイタウン |
| | | | | 羽深 智敬 | 三樹屋總本店 |
| | | | | 渡辺 幸恵 | 彩光園 |
| | | | | 天貝 奈萌 | 共働舎 |
| | | | | 川俣 聡司 | 愛光園 |
| 21 | 6.7.8 | 栃木県相談支援従事者現任研修 | 栃木県、栃木県自立支援協議会相談支援部 | 安藤 尚子 | 共生 |
| 22 | 6.7.8 | 安全運転管理者等講習 | 栃木県安全運転管理者協議会 栃木県警察本部 | 永倉 徹 | 足利愛光園 |
| | | | | 大越 雅明 | ひだまり |
| | | | | 松崎 友紀 | 一步 |
| 23 | 6.7.8 | 栃木県社会福祉法人青年経営者会全体会 | 栃木県社会福祉法人青年経営者会 | 川俣 聡司 | 愛光園 |
| 24 | 6.7.11-12 | 全国知的障害関係施設長等会議 | 公益財団法人 日本知的障害者福祉協会 | 川俣 聡司 | 愛光園 |
| | | | | 川俣 弘美 | 彩光園 |
| 25 | 6.7.11 | 福祉介護職場でのアンガーマネジメント | 一般財団法人 アンガーマネジメント協会 | 松本 悠莉 | カレンフィールド |
| 26 | 6.7.7-14 | 強度行動障害支援者養成研修 | 未来ケアカレッジ | 相田 直子 | なないろ |
| 27 | 6.7.16 | S・Y サークル東京(異業種勉強会) | S.Y ワークス | 川俣 聡司 | 愛光園 |
| 28 | 6.7.22 | S・Y ワークス 施設長養成カレッジ | S.Y ワークス | 佐々木 健一 | 陽光園 |
| 29 | 6.7.25 | 身体拘束適正化研修 | 館林外五町地域自立支援協議会 | 遠藤 正美 | ホームほのか |
| 30 | 6.7.31 | CareTEX 東京24夏 介護用品展 | ブティックス(株) | 佐藤 圭 | カレンフィールド |
| | | | | 澤田 絵美 | 陽光園 |
| | | | | 天田 衿菜 | 陽光園 |
| | | | | 手嶋 英輔 | カレンフィールド |

| | | | | | |
|----|-------------|----------------------------|---------------------------|--------|----------|
| 31 | 6.8.9 | テールゲートリフター講習 | 公益社団法人わたらせ技能講習センター | 浅沼 駿介 | 足利愛光園 |
| | | | | 内田 吉宣 | 足利愛光園 |
| 32 | 6.8.23 | 令和6年度社会福祉法人主任/係長講座オンライン研修 | 全国社会福祉法人経営者協議会 | 岡嶋 梨加 | 彩光園 |
| 33 | 6.8.29 | 第30回栃木県民福祉のつどい | 栃木県身体障害者団体連絡協議会 | 川俣 恵一 | 愛光園 |
| 34 | 6.8.29 | 令和6年度厚生労働省認定調査員フォローアップ研修 | 厚生労働省 | 岡嶋 梨加 | 彩光園 |
| 35 | 6.8.6,10,31 | 相談支援従事者初任者研修 | 厚生労働省(群馬県会場) | 宇野 知世 | カレンフィールド |
| 36 | 6.9.3 | S・Y ワークス 施設長養成カレッジ | S.Y ワークス | 佐々木 健一 | 陽光園 |
| 37 | 6.9.5-6 | 令和6年度日本セルフセンタークリーニング部会・研修会 | 日本セルフセンタークリーニング部会 | 永倉 徹 | 足利愛光園 |
| | | | | 川俣 聡司 | 愛光園 |
| 38 | 6.9.6 | 令和6年度佐野市社会福祉法人連絡会定例会 | 佐野市社会福祉法人連絡会 | 佐々木 健一 | 陽光園 |
| 39 | 6.9.10-12 | 栃木県相談支援従事者現認研修 | 栃木県(障害者総合相談所) | 安藤 尚子 | 共生 |
| 40 | 6.9.20 | 第3回アート活動支援人材研修 | 群馬県障害者芸術文化活動支援センター こ・ふ・あん | 川俣 恵一 | 愛光園 |
| 41 | 6.9.25 | 足利市社会福祉施設代表者協議会(職員研修会) | 足利市社会福祉施設代表者協議会 | 川俣 聡司 | 愛光園 |
| 42 | 6.10.16 | S・Y ワークス 施設長養成カレッジ | S.Y ワークス | 佐々木 健一 | 陽光園 |
| 43 | 6.10.30-31 | S・Y ワークス 施設長養成カレッジ | S.Y ワークス | 佐々木 健一 | 陽光園 |
| 44 | 6.10.30 | サブレ等型抜き機試作デモ&商談 | (株)飯田製作所 | 藤田 勝美 | 三樹屋總本店 |
| 45 | 6.11.7 | 地域療育支援事業研修会 | 栃木県立リハビリテーションセンター | 山田 悦子 | なないろ |
| 46 | 6.11.13 | 令和6年度福祉サービス苦情解決研修会 | 栃木県運営適正化委員会 | 佐藤 麻稀 | ホームあすか |
| 47 | 6.11.16 | 介護リハビリセラピスト1日講座 | 日本介護リハビリセラピスト協会 | 天田 衿菜 | 陽光園 |
| 48 | 6.11.18-22 | 技能実習生関係現地視察(ミャンマー) | マロニエケアアシスト協同組合 | 佐々木 健一 | 陽光園 |
| 49 | 6.11.20-21 | サービス管理責任者、児童発達支援管理責任者 基礎研修 | 特非)栃木県障害施設・事業協会 | 家住 涼介 | 愛光園 |
| 50 | 6.11.21 | 令和6年度足利市社会福祉施設代表者協議会視察研修 | 足利市社会福祉施設代表者協議会 | 堀越 信行 | 足利愛光園 |

| | | | | | |
|----|----------------------------------|-----------------------------------|---------------------|--------|-------------------|
| 51 | 6.10.31, 11.1.20-21, 28-29 | 令和6年度医療的ケア児等コーディネーター養成研修 | 栃木県保健福祉部障害福祉課 | 小野 広久 | 基幹相談支援センター |
| 52 | 6.11.30 | 介護職種の技能実習指導員講習 | 公益社団法人 日本介護福祉士会 | 屋宜 沙織 | 陽光園 |
| | | | | 天田 衿菜 | 陽光園 |
| 53 | 6.12.10-11 | サービス管理責任者 実践研修 | 特非)栃木県障害施設・事業協会 | 森山 僚 | カレンホーム |
| 54 | 6.12.12-13 | 甲種防火管理新規講習 | 日本防火・防災協会 | 手嶋 英輔 | カレンフィールド |
| 55 | 6.12.14-15 | 就労支援フォーラム NIPPON2024 | 日本財団 | 荒木 理恵 | 足利愛光園 |
| | | | | 渡辺 幸恵 | 彩光園 |
| | | | | 羽深 智敬 | 三柵屋總本店 |
| | | | | 勅使河原 彩 | 協働舎 |
| 56 | 6.12.18 | S・Y ワークス 叱り方セミナー | S.Y ワークス | 佐々木 健一 | 陽光園 |
| 57 | 6.12.12 | 栃木県社会福祉法人青年経営者会 全体会 | 栃木県社会福祉法人青年経営者会 | 川俣 聡司 | 愛光園 |
| 58 | 7.1.14 | 安全運転管理者法定講習 | 群馬県総合交通センター | 羽深 智敬 | 三柵屋總本店 |
| 59 | 7.1.15-16 | 令和6年度サービス管理責任者更新研修 | 栃木県障害施設・事業協会 | 堀越 信行 | 足利愛光園 |
| | | | | 遠藤 正美 | ホームほのか |
| | | | | 森 律子 | フルーエ |
| | | | | 羽深 智敬 | 三柵屋總本店 |
| 60 | 7.1.16 | 栃木県セルフ視察研修 | とちぎ福祉プラザ | 川俣 聡司 | 愛光園 |
| 61 | 7.1.22 | S・Y ワークス施設長養成カレッジ | 宮城県仙台市青葉区(S・Y ワークス) | 佐々木 健一 | 陽光園 |
| 62 | 7.1.22-24 | S・Y ワークス研修 日本セルフ士会視察研修 | ホテルベルエア(宮城県仙台市青葉区) | 川俣 聡司 | 愛光園 |
| 63 | 7.1.25-26 | 2024 年度日本相談支援専門員協会第1回関東甲信越ブロック研修会 | 国立オリンピック記念青少年総合センター | 長 秀紀 | 足利市障がい者基幹相談支援センター |
| 64 | 7.1.27 | BCP 体験研修(施設職員研修会) | とちぎ福祉プラザ | 永倉 徹 | 足利愛光園 |
| 65 | 7.1.31,2.7 | 令和6年度栃木県障がい者虐待防止・権利擁護研修 | とちぎ福祉プラザ | 森山 僚 | カレンホーム |

| | | | | | |
|----|-----------|----------------------------|-----------------------|--------|------------|
| 66 | 7.2.3 | ケアテックス 2025(福祉機器の展示会) | 東京ビッグサイト | 栗原 将人 | 陽光園 |
| | | | | 山田 優人 | 陽光園 |
| | | | | 青木 祐太 | 彩光園 |
| | | | | 佐藤 圭 | カレンフィールド |
| | | | | 手嶋 英輔 | カレンフィールド |
| | | | | 渡辺 哲也 | カレンフィールド |
| 67 | 7.2.5 | 第 10 回栃木県障害者芸術展 | 栃木県総合文化センター | 川俣 恵一 | 愛光園 |
| 68 | 7.2.6 | 安足地区知的障害者施設長会 | 栃木県南地区地場産業振興センター | 佐々木 健一 | 陽光園 |
| 69 | 7.2.19 | 障がい者芸術・アート展 | ヤマト本社、群馬県社会福祉総合センター | 川俣 恵一 | 愛光園 |
| 70 | 7.2.6 | 令和6年度第一回安足地区知的障害施設長会議 | 栃木県南地域地場産業振興センター | 川俣 弘美 | 彩光園 |
| 71 | 7.2.25-26 | サービス管理責任者基礎研修 | 栃木県青年会館コンサーレ | 小島 麻由 | ラクーン |
| 72 | 7.2.27-28 | 全国社会就労センター長会議 | 有明セントラルタワーホール&カンファレンス | 川俣 聡司 | 愛光園 |
| 73 | 7.2.28 | 関東地区障害者支援施設部会長会議兼研修会 | 宇都宮ライトキューブ | 川俣 弘美 | 彩光園 |
| 74 | 7.3.3 | 令和6年度栃木県社会就労センター協議会第2回定期総会 | ホテルニューイタヤ | 天貝 奈萌 | 共働舎 |
| | | | | 川俣 恵一 | 愛光園 |
| | | | | 川俣 聡司 | 愛光園 |
| | | | | 羽深 智敬 | 三柵屋總本店 |
| 75 | 7.3.11 | 令和6年度保健と福祉の連携研修会 | とちぎ福祉プラザ | 小野 広久 | 基幹相談支援センター |
| 76 | 7.3.15 | テールゲートリフター特別教育受講 | わたらせ技能講習センター | 早川 達也 | 足利愛光園 |
| 合計 | | | | 110 名 | |

8. 事業別職員数（令和7年3月31日）

| | | | 男 | | | | 女 | | | | 合計 | | | | 平均年齢 | 平均在籍期間 |
|-------|---------|------|-----|-------|-----|-----|-----|-------|-----|-----|-----|-------|-----|------|-------|--------|
| | | | 正職員 | フルパート | 非常勤 | 合計 | 正職員 | フルパート | 非常勤 | 合計 | 正職員 | フルパート | 非常勤 | 合計 | | |
| 山川 | 足利愛光園 | 生活介護 | 1 | 0 | 1 | 2 | 2 | 0 | 0 | 2 | 3 | 0 | 1 | 4 | 49.2 | 13.13 |
| | | B | 3 | 3 | 1 | 7 | 1 | 0 | 1 | 2 | 4 | 3 | 2 | 9 | 53.6 | 7.28 |
| | あすか | 2 | 0 | 1 | 3 | 2 | 2 | 7 | 11 | 4 | 2 | 8 | 14 | 57.6 | 8.74 | |
| | その他 | 0 | 1 | 1 | 2 | 0 | 2 | 1 | 3 | 0 | 3 | 2 | 5 | 60.2 | 14.10 | |
| | 小計 | 6 | 4 | 4 | 14 | 5 | 4 | 9 | 18 | 11 | 8 | 13 | 32 | | | |
| あづま | 彩光園 | 生活介護 | 3 | 0 | 0 | 3 | 4 | 1 | 4 | 9 | 7 | 1 | 4 | 12 | 49.5 | 10.19 |
| | | 彩 | 3 | 0 | 8 | 11 | 3 | 0 | 4 | 7 | 6 | 0 | 12 | 18 | 59.2 | 6.04 |
| | | B | 1 | 3 | 1 | 5 | 1 | 0 | 1 | 2 | 2 | 3 | 2 | 7 | 58.7 | 4.83 |
| | かがやき | 1 | 0 | 2 | 3 | 3 | 3 | 8 | 14 | 4 | 3 | 10 | 17 | 61.3 | 5.67 | |
| | なないろ | 0 | 0 | 2 | 2 | 4 | 2 | 6 | 12 | 4 | 2 | 8 | 14 | 59.4 | 5.89 | |
| | その他 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 69.2 | 22.94 | |
| | 小計 | 8 | 3 | 14 | 25 | 15 | 6 | 23 | 44 | 23 | 9 | 37 | 69 | | | |
| 松原 | セレッツ館 | 1 | 1 | 2 | 4 | 2 | 1 | 5 | 8 | 3 | 2 | 7 | 12 | 67.7 | 5.55 | |
| | ラクーン | 5 | 0 | 3 | 8 | 3 | 0 | 7 | 10 | 8 | 0 | 10 | 18 | 53.3 | 5.59 | |
| | 小計 | 6 | 1 | 5 | 12 | 5 | 1 | 12 | 18 | 11 | 2 | 17 | 30 | | | |
| 六郷 | カレンF | B | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 1 | 3 | 0 | 2 | 1 | 3 | 50.1 | 1.36 |
| | | 生活介護 | 7 | 1 | 8 | 16 | 5 | 4 | 19 | 28 | 12 | 5 | 27 | 44 | 45.4 | 3.37 |
| | カレンホーム | 3 | 1 | 1 | 5 | 1 | 3 | 8 | 12 | 4 | 4 | 9 | 17 | 51.2 | 2.73 | |
| | ひかり | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 33.8 | 7.90 | |
| | みやび | 1 | 0 | 1 | 2 | 0 | 1 | 2 | 3 | 1 | 1 | 3 | 5 | 65.7 | 4.20 | |
| | 生活介護三樹屋 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 4 | 4 | 1 | 0 | 4 | 5 | 49.5 | 1.58 | |
| | 三樹屋 | 6 | 0 | 6 | 12 | 1 | 1 | 7 | 9 | 7 | 1 | 13 | 21 | 36.0 | 2.70 | |
| 小計 | 18 | 2 | 16 | 36 | 8 | 11 | 41 | 60 | 26 | 13 | 57 | 96 | | | | |
| アイタウン | ほのか | 0 | 0 | 1 | 1 | 5 | 2 | 8 | 15 | 5 | 2 | 9 | 16 | 62.9 | 8.05 | |
| | ひだまり | 3 | 0 | 1 | 4 | 2 | 2 | 13 | 17 | 5 | 2 | 14 | 21 | 65.9 | 8.65 | |
| 小計 | | | 3 | 0 | 2 | 5 | 7 | 4 | 21 | 32 | 10 | 4 | 23 | 37 | | |
| 稲岡 | 工場 | 愛光園 | 7 | 1 | 2 | 10 | 2 | 0 | 7 | 9 | 9 | 1 | 9 | 19 | 50.8 | 9.24 |
| | | 共働舎 | 3 | 0 | 3 | 6 | 3 | 1 | 8 | 12 | 6 | 1 | 11 | 18 | 50.9 | 5.70 |
| | | その他 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 33.3 | 0.16 |
| | | 小計 | 10 | 2 | 5 | 17 | 5 | 1 | 15 | 21 | 15 | 3 | 20 | 38 | | |
| | 介護 | 陽光園 | 10 | 1 | 4 | 15 | 15 | 0 | 7 | 22 | 25 | 1 | 11 | 37 | 46.1 | 6.31 |
| 入所 | | 0 | 0 | 2 | 2 | 1 | 1 | 0 | 2 | 1 | 1 | 2 | 4 | 63.0 | 10.56 | |
| 小計 | | | 10 | 1 | 6 | 17 | 16 | 1 | 7 | 24 | 26 | 2 | 13 | 41 | | |
| 大久保 | 一步 | 2 | 0 | 2 | 4 | 2 | 0 | 5 | 7 | 4 | 0 | 7 | 11 | 56.6 | 6.09 | |
| 小計 | | | 2 | 0 | 2 | 4 | 2 | 0 | 5 | 7 | 4 | 0 | 7 | 11 | | |
| 猿田 | フルーエ | 3 | 0 | 5 | 8 | 6 | 0 | 6 | 12 | 9 | 0 | 11 | 20 | 50.9 | 5.12 | |
| | 共生 | 1 | 0 | 0 | 1 | 2 | 0 | 0 | 2 | 3 | 0 | 0 | 3 | 47.5 | 17.59 | |
| 小計 | | | 4 | 0 | 5 | 9 | 8 | 0 | 6 | 14 | 12 | 0 | 11 | 23 | | |
| 地域 | 相談支援 | 2 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 2 | 52.0 | 26.38 | |
| 小計 | | | 2 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 2 | | | |
| 合計 | | | 69 | 13 | 59 | 141 | 71 | 28 | 139 | 238 | 140 | 41 | 198 | 379 | 53.7 | 7.92 |